

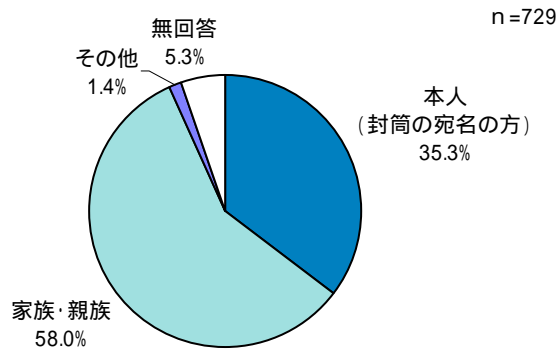
第4章 在宅要介護認定者調査

1. あなたのことについて

(1) 調査記入者

F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)

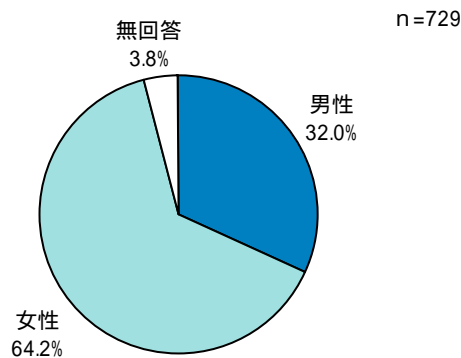
調査票記入者は、「本人」35.3%、「家族・親族」58.0%、「その他」1.4%である。



(2) 性別

F 2 あなたの性別は。(1つに)

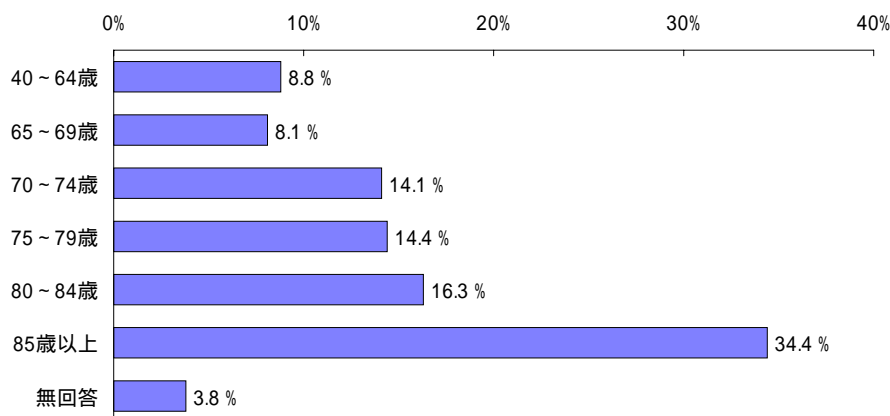
性別は、「女性」64.2%、「男性」32.0%である。



(3) 年齢

F 3 あなたの年齢は。(1 つに)

年齢は「85歳以上」34.4%、「80～84歳」16.3%、「75～79歳」14.4%、「70～74歳」14.1%などの順である。「65～69歳」及び「70～74歳」の74歳までの高齢者が22.2%、「75～79歳」及び「80～84歳」、「85歳以上」の75歳以上の高齢者が65.1%である。 n=729



[性別]

70歳代までは男性が上回り、80歳以上は女性が上回る。

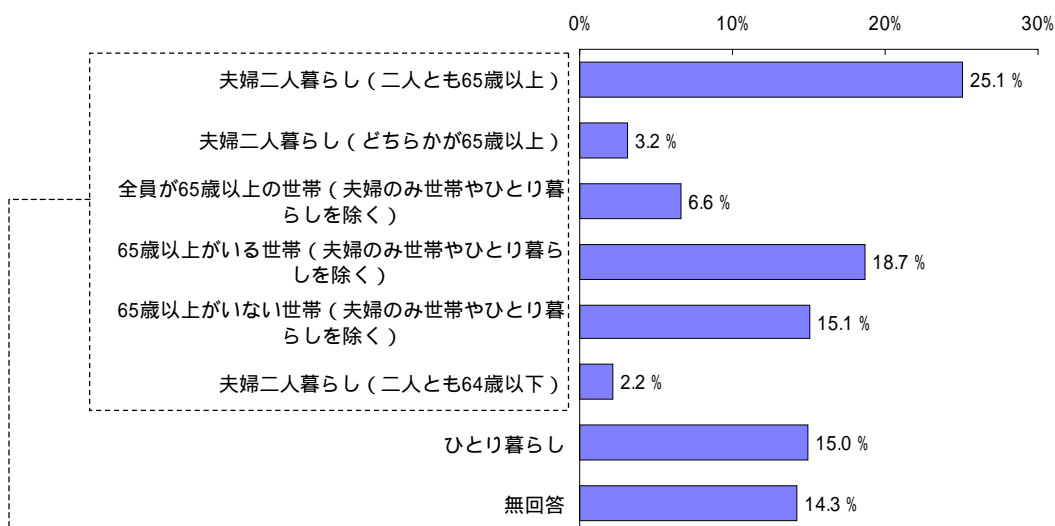
単位：%

		回答者数 (人)	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全 体		729	8.8	8.1	14.1	14.4	16.3	34.4	3.8
性別	男性	233	11.2	14.6	16.3	21.0	16.7	20.2	0.0
	女性	468	8.1	5.3	13.9	11.5	17.1	43.4	0.6

(4) 同居家族

F 4 あなたが同居しているご家族は。(1 つに)

同居している家族は、「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」25.1%、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」18.7%、「65歳以上がいない世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」15.1%、「ひとり暮らし」15.0%などである。 n=729



[年齢]

65歳以上84歳までは「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」が最も多い。これに対し、「40～64歳」及び「85歳以上」は、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」が最も多い。

「ひとり暮らし」は「80～84歳」24.4%、「75～79歳」20.0%などの順である。

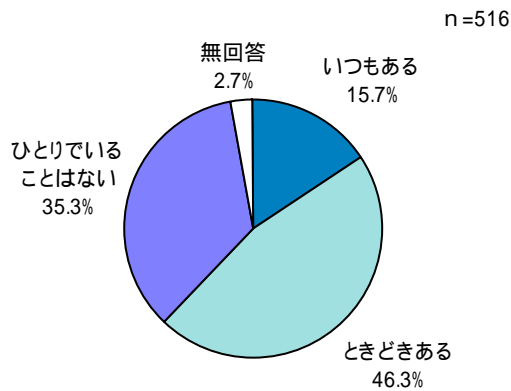
単位：%

	回答者数 (人)	夫婦二人 暮らし (二人とも 65歳以上)	夫婦二人 暮らし (どちらかが 65歳以上)	全員が65歳 以上の世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いる世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いない世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	夫婦二人 暮らし (二人とも 64歳以下)	ひとり 暮らし	無回答	
全 体	729	25.1	3.2	6.6	18.7	15.1	2.2	15.0	14.3	
年 齢	40～64歳	64	4.7	9.4	1.6	35.9	26.6	7.8	6.3	7.8
	65～69歳	59	50.8	11.9	1.7	16.9	5.1	0.0	5.1	8.5
	70～74歳	103	46.6	4.9	3.9	15.5	8.7	0.0	13.6	6.8
	75～79歳	105	43.8	2.9	1.0	15.2	6.7	1.0	20.0	9.5
	80～84歳	119	26.9	0.0	2.5	9.2	24.4	1.7	24.4	10.9
	85歳以上	251	9.6	0.8	15.1	23.9	16.7	3.2	15.1	15.5

(5) 日中の独居

F 4 - 1 あなたは、昼間ひとりであることがありますか。(1つに)

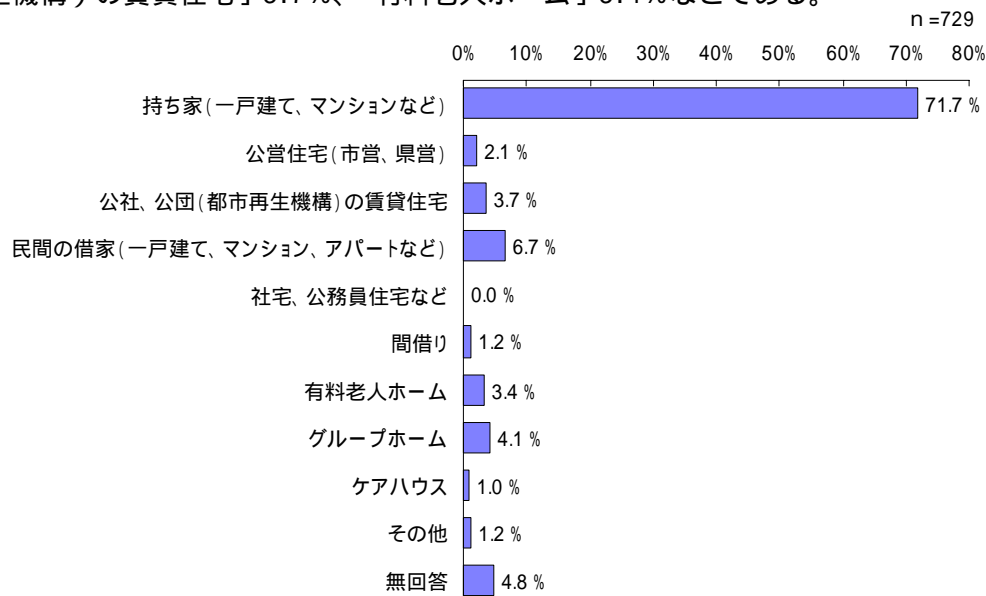
昼間ひとりであることに対し、「ときどきある」46.3%、「ひとりであることはない」35.3%、「いつもある」15.7%である。



(6) 住まい

F 5 お住まいは次のどれですか。(1 つに)

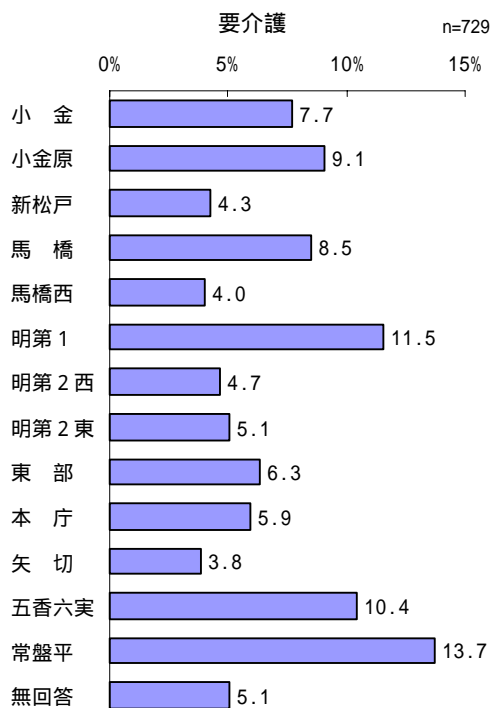
住まいは「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が71.7%で7割強を占める。次いで「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」6.7%、「グループホーム」4.1%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」3.7%、「有料老人ホーム」3.4%などである。



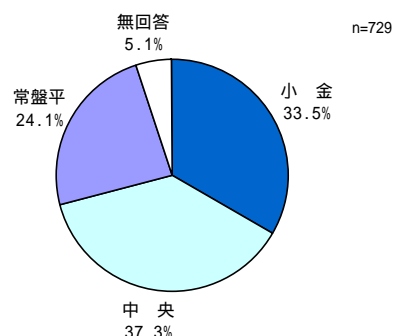
(7) 居住地区

F 6 あなたの住所は、どちらですか。(1 つに)

13の日常生活圏域でみると「常盤平」が最も多く13.7%を占め、次いで「明第1」11.5%、「五香六実」10.4%、「小金原」9.1%、「馬橋」8.5%、「小金」7.7%などである。



3つの地域包括支援センター管轄でみると、「中央」37.3%、「小金」33.5%、「常盤平」24.1%となっている。

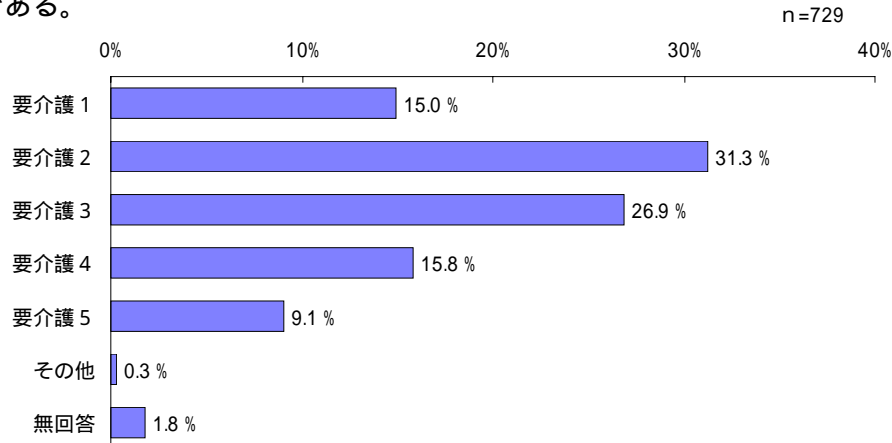


2. 日常の生活状況等について

(1) 要介護状態区分

問1 あなたの要介護状態区分は。(1つに)

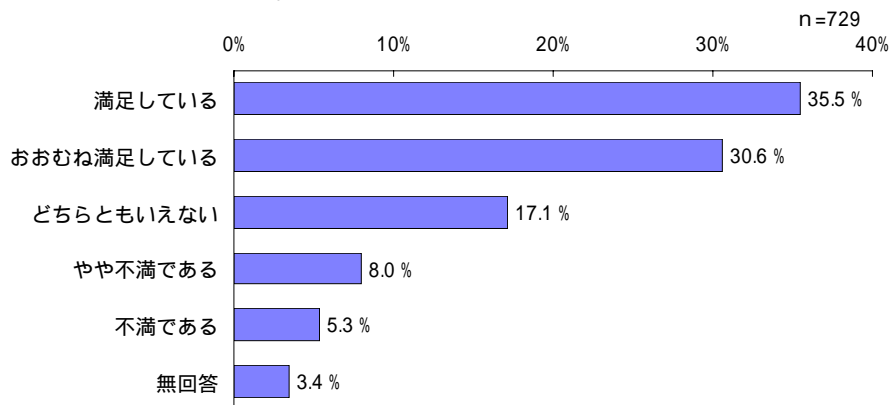
「要介護2」31.3%、「要介護3」26.9%、「要介護4」15.8%、「要介護1」15.0%、「要介護5」9.1%である。



(2) 認定結果の満足度

問2 あなたは、今回の認定結果に満足していますか。(1つに)

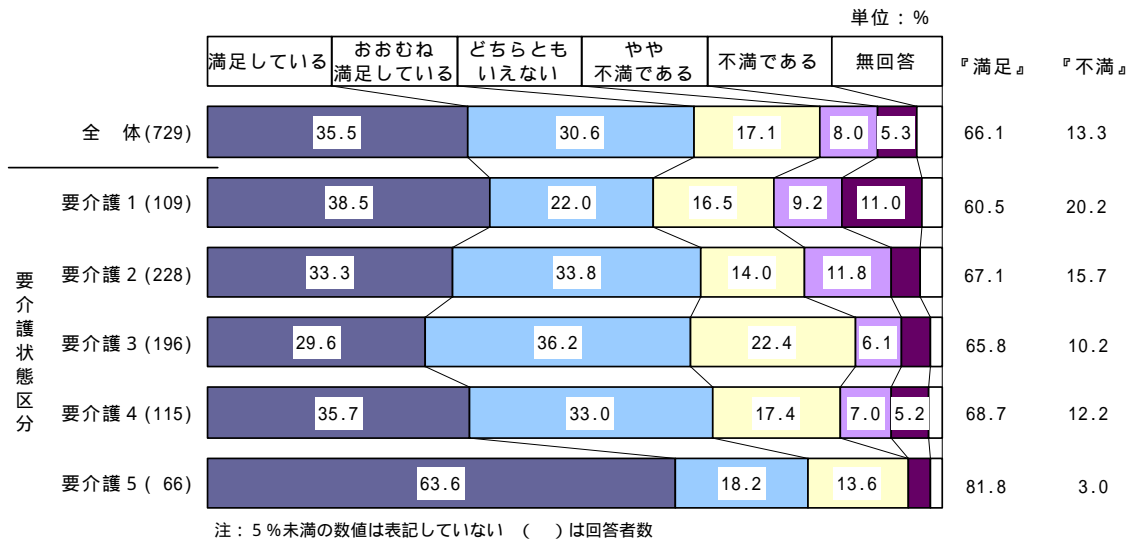
今回の認定結果に「満足している」35.5%、「おおむね満足している」30.6%、これらを合わせた『満足』は66.1%である。これに対し、「やや不満である」8.0%、「不満である」5.3%を合わせた『不満』は13.3%である。



[要介護状態区分]

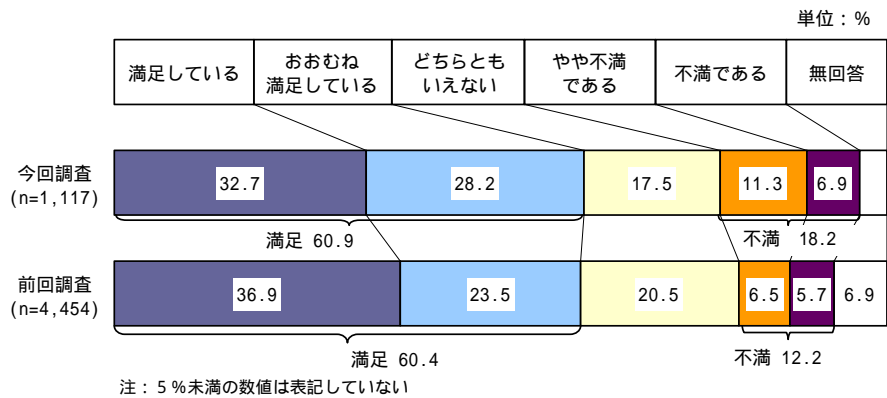
「満足している」は要介護5の63.6%が他を大きく引き離す。『満足』は要介護5の81.8%、要介護4の68.7%、要介護2の67.1%、要介護3の65.8%、要介護1の60.5%の順である。

『不満』は要介護1の20.2%、要介護2の15.7%などの順である。



【 経年比較 】

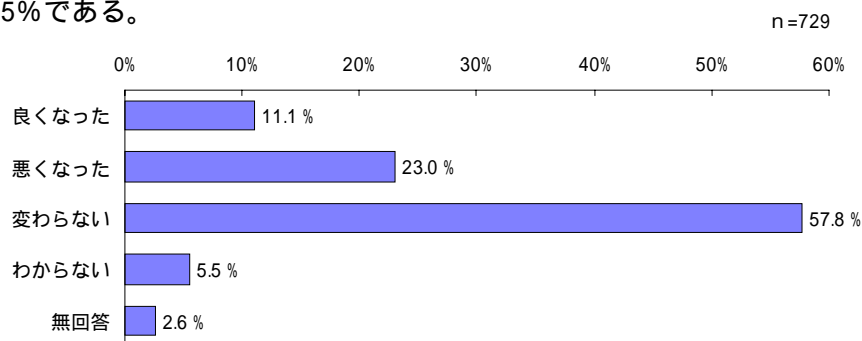
『満足』は、ほとんど変わらないが、『不満』は多くなっている。



(3) 要介護認定以降の状態

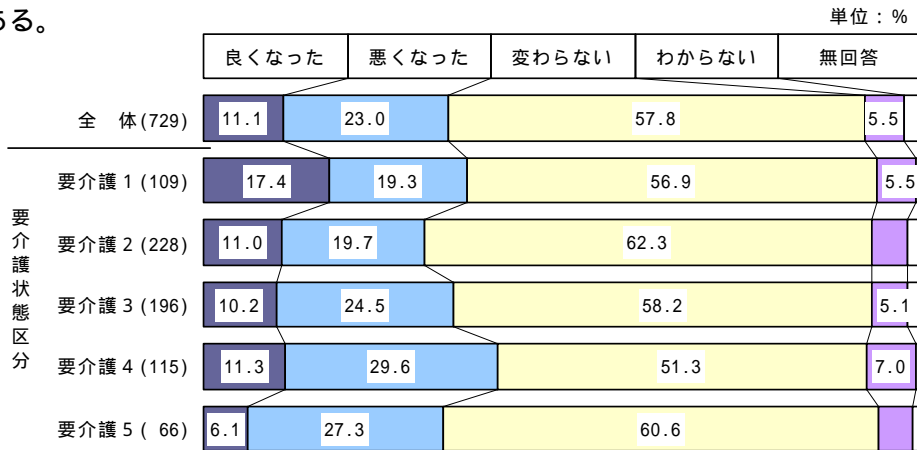
問3 要介護認定を受けた後、あなたのお体の状態はどのように変わりましたか。
(1つに)

「変わらない」が57.8%と6割、「悪くなった」が23.0%、「良くなった」が11.1%、「わからない」が5.5%である。



[要介護状態区分]

「良くなった」は要介護1、17.4%がやや多い。これに対し、「悪くなった」は要介護4、29.6%、要介護5、27.3%、要介護3、24.5%であり、要介護2の19.7%、要介護1の19.3%とはやや差がある。

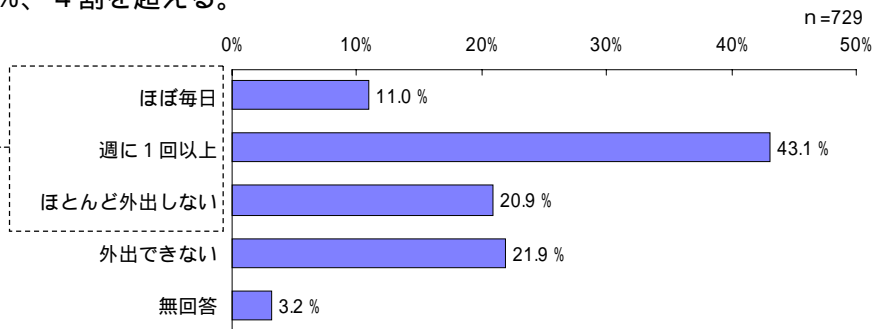


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(4) 外出の頻度

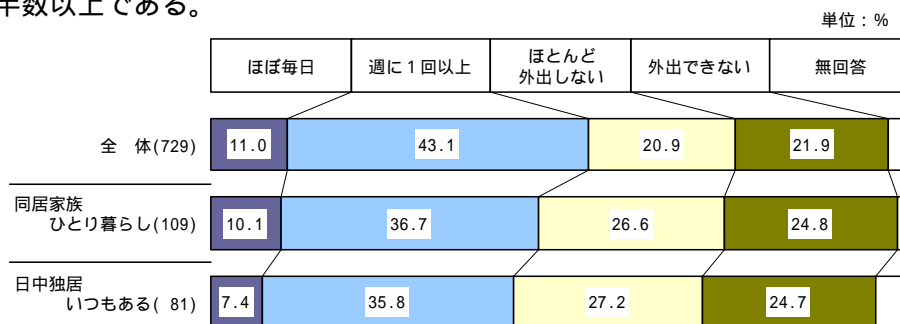
問4 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

日ごろの外出は「週に1回以上」43.1%、「外出できない」21.9%、「ほとんど外出しない」20.9%、「ほぼ毎日」11.0%である。「週に1回以上」と「ほぼ毎日」を合わせた『外出する』は、54.1%と5割を超えるが、「外出できない」と「ほとんど外出しない」を合わせた『外出しない・できない』は42.8%、4割を超える。



[ひとり暮らし・日中独居]

『外出しない・できない』はひとり暮らしで51.4%、いつもひとりであることので多い日中独居で51.9%と半数以上である。



注：5%未満の数値は表記していない

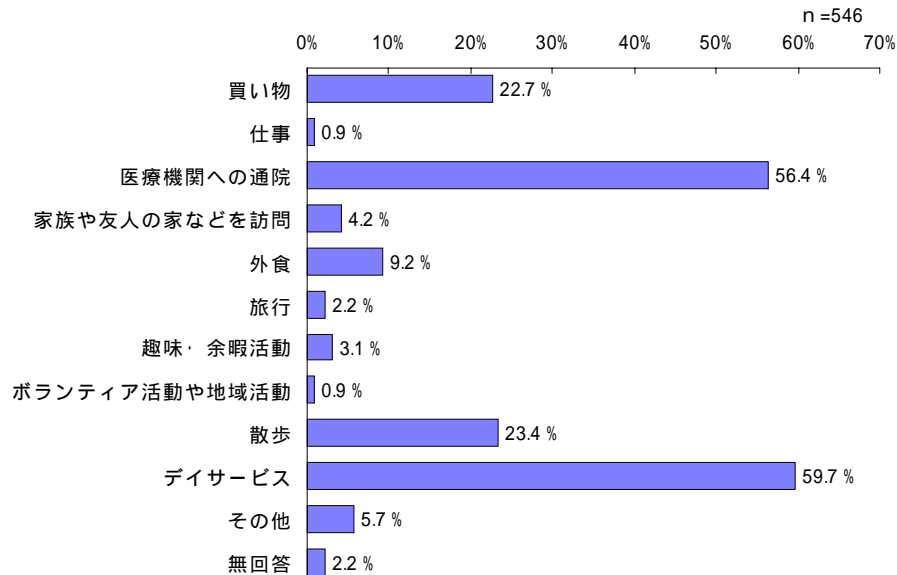
[要介護状態区分]

『外出する』は、要介護1の66.1%、要介護2の59.2%などの順である。

(5) 外出の目的

問4-1 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の目的は「デイサービス」59.7%、「医療機関への通院」56.4%が主なものである。次いで「散歩」23.4%、「買い物」22.7%、「外食」9.2%などである。



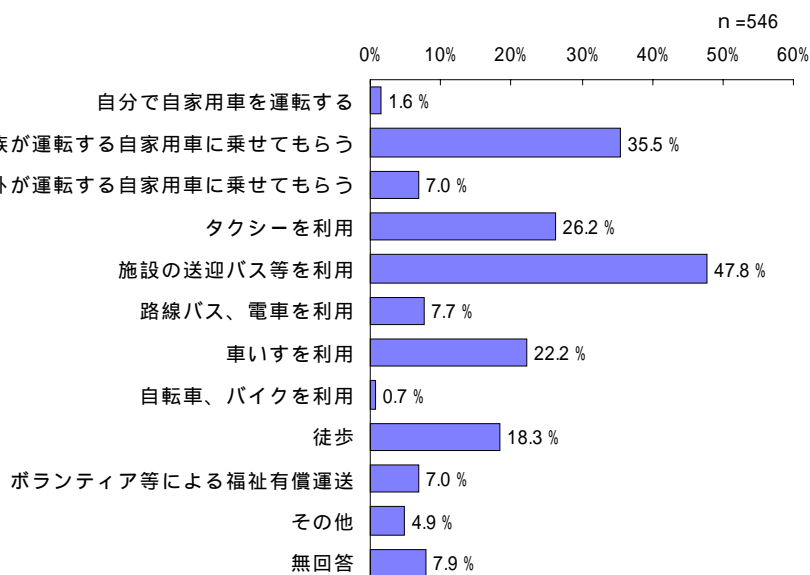
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人とも「医療機関への通院」「デイサービス」が主なものであるが、「買い物」についても各36.3%、29.8%と多いものとなっている。

(6) 外出の方法

問4-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の方法は「施設の送迎バス等を利用」47.8%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」35.5%、「タクシーを利用」26.2%、「車いすを利用」22.2%、「徒歩」18.3%などである。



【同居家族】

65歳以上がいる世帯（夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く）及び夫婦二人暮らし（二人とも64歳以下）は「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」が各51.9%、81.8%と最も多いが、これら以外の家族では「施設の送迎バス等を利用」が多い。

ひとり暮らしは、「施設の送迎バス等を利用」41.3%に次いで「タクシーを利用」35.0%、「徒歩」28.8%などの順である。

【日中独居】

日中独居では、いずれも「施設の送迎バス等を利用」が最も多い。「タクシーを利用」は、ときどきあるとした人が31.5%、いつもあるとした人が22.8%である。

単位：%

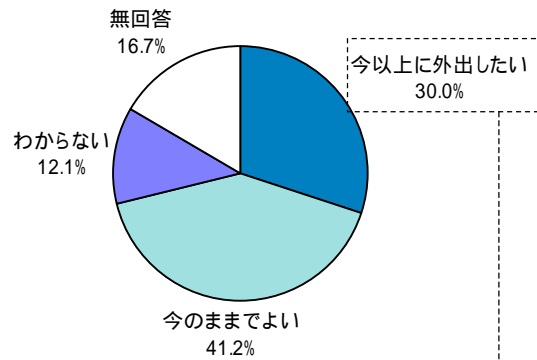
	回答者数 (人)	自分で自 家用車を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシ-を 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	546	1.6	35.5	7.0	26.2	47.8	7.7	22.2	0.7	18.3	7.0	4.9	7.9	
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも65歳以上)	141	2.1	29.8	9.2	30.5	49.6	9.2	29.1	0.7	20.6	9.9	6.4	5.0
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	22	0.0	45.5	4.5	18.2	59.1	0.0	31.8	0.0	13.6	9.1	4.5	13.6
	全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	32	0.0	21.9	9.4	28.1	62.5	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	65歳以上がいる世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	106	1.9	51.9	4.7	22.6	50.0	7.5	20.8	0.9	15.1	3.8	2.8	6.6
	65歳以上がいない世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	84	3.6	41.7	2.4	26.2	50.0	6.0	28.6	1.2	15.5	3.6	1.2	8.3
	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	11	0.0	81.8	9.1	9.1	36.4	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1
	ひとり暮らし	80	0.0	20.0	8.8	35.0	41.3	12.5	8.8	0.0	28.8	8.8	10.0	5.0
日中独居	いつもある	57	3.5	38.6	3.5	22.8	52.6	10.5	12.3	0.0	19.3	1.8	3.5	10.5
	ときどきある	197	1.0	41.6	5.6	31.5	53.3	5.6	27.9	1.0	19.3	6.1	3.0	6.1
	ひとりであることは ない	132	2.3	39.4	7.6	19.7	49.2	6.8	29.5	1.5	12.1	6.1	5.3	7.6

(7) 今以上に外出したいか

問4-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

問4で外出が可能な人に、今以上に外出したいかを聞いた。「今のままでよい」が41.2%と多く、「今以上に外出したい」は30.0%にとどまり、「わからない」が12.1%である。

n=546

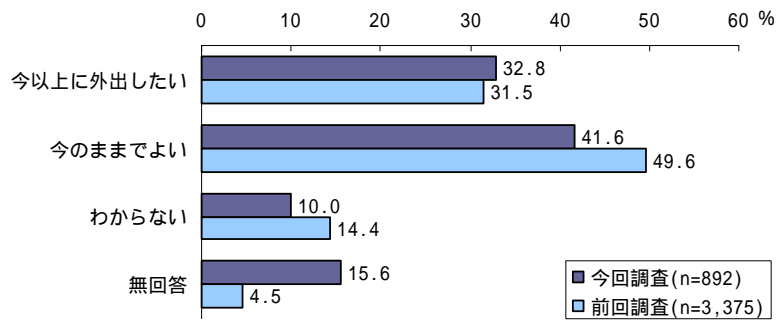


[ひとり暮らし・日中独居]

「今以上に外出したい」は、ひとり暮らしで37.5%と多い。日中いつもにひとりであることので多い人は全体結果とほぼ同じであるが、ときどきひとりである人は35.5%と比較的多い。

【 経年比較 】

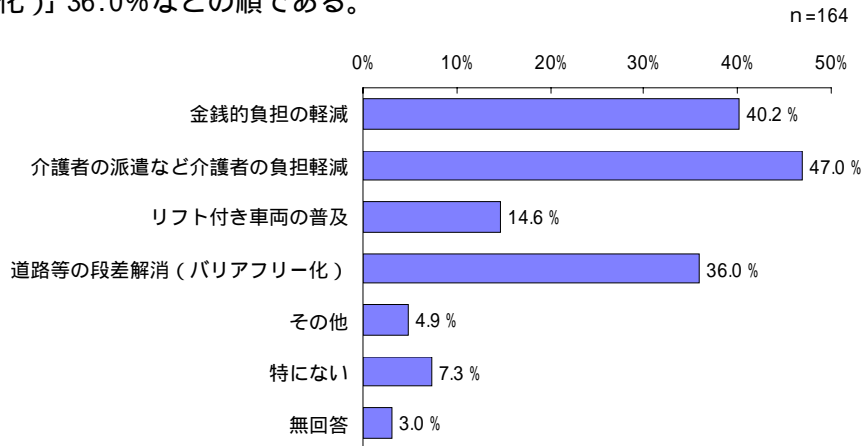
「今のままでよい」が減り、「今以上に外出したい」がやや増えている。



(8) 外出のために必要な援助

問4-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

問4-3で「今以上に外出したい」と答えた人に、どのような援助が必要かを聞いた。「介護者の派遣など介護者の負担軽減」47.0%、「金銭的負担の軽減」40.2%、「道路等の段差解消(バリアフリー化)」36.0%などの順である。

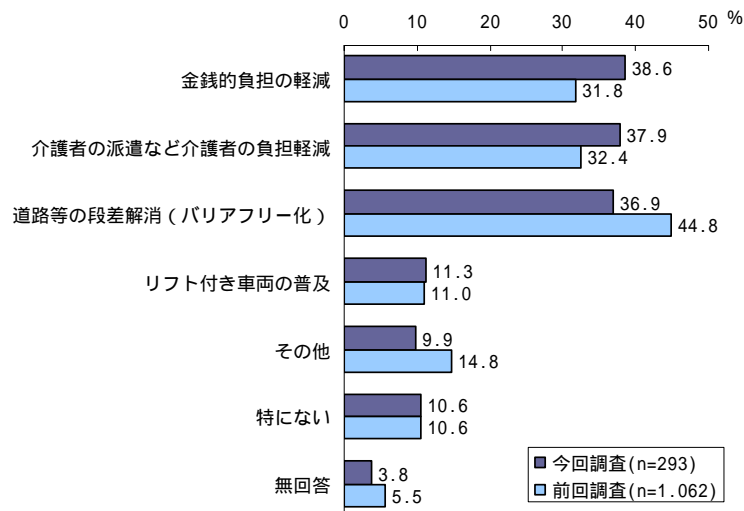


[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人では、「介護者の派遣など介護者の負担軽減」「金銭的負担の軽減」が半数以上と多い。「介護者の派遣など介護者の負担軽減」は、日中ひとりであることはない人でも半数以上となっている。

【 経年比較 】

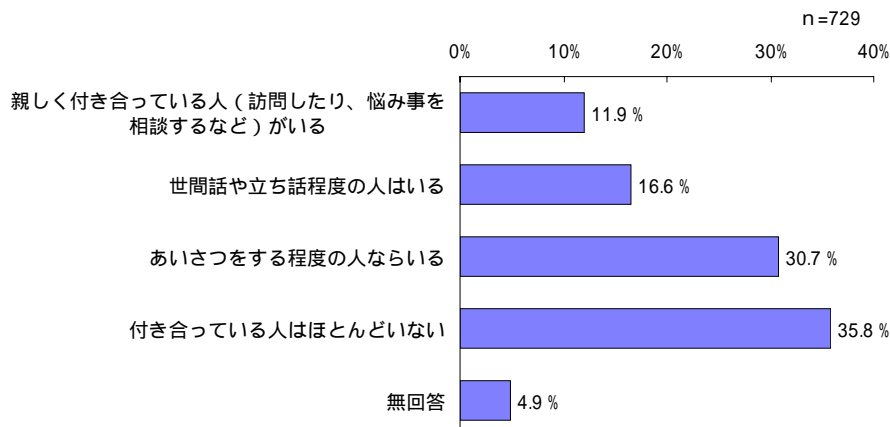
今回調査が上回る主なものは、「金銭的負担の軽減」及び「介護者の派遣など介護者の負担軽減」である。逆に「道路等の段差解消(バリアフリー化)」は今回調査で減っている。



(9) 隣近所との付き合い

問5 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

隣近所との付き合いは、「付き合っている人はほとんどいない」35.8%、「あいさつをする程度の人ならいる」30.7%、「世間話や立ち話程度の人はいる」16.6%と続き、「親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる」は11.9%にとどまる。

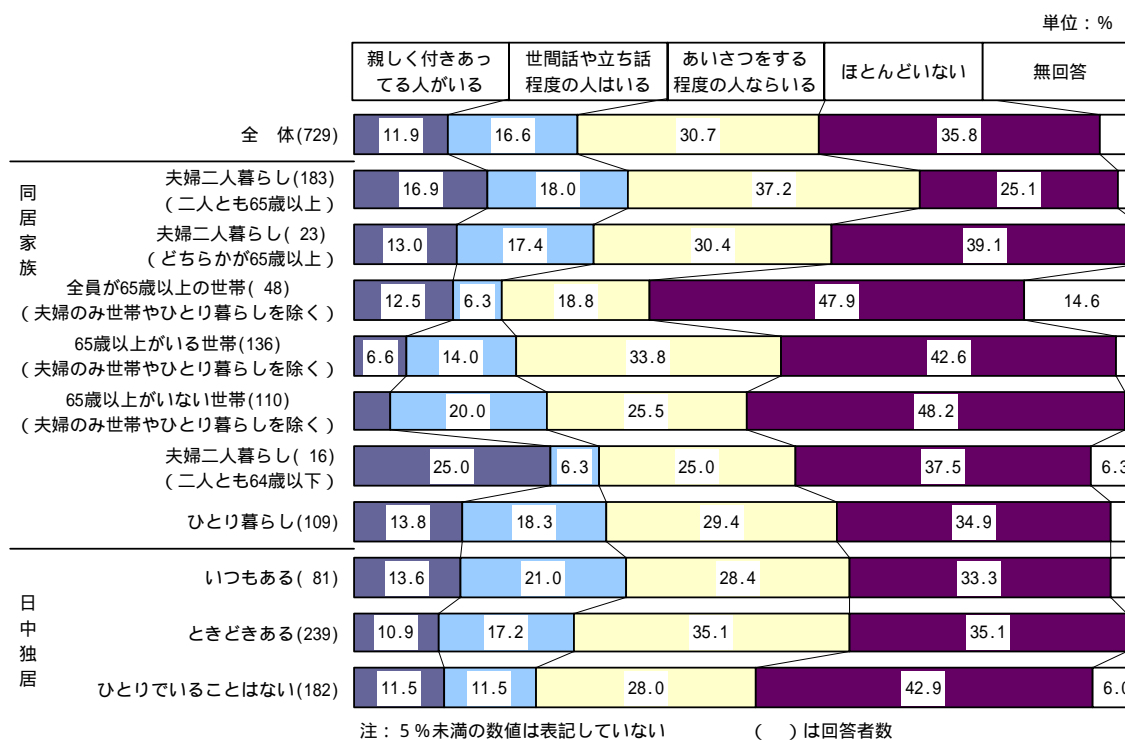


[同居家族]

夫婦二人暮らしやひとり暮らしを除いては、「付き合っている人はほとんどいない」が45%前後と比較的多い。

[日中独居]

「付き合っている人はほとんどいない」は、いつもひとりであることの多い人の33.3%に対し、ひとりであることはない人42.9%である。

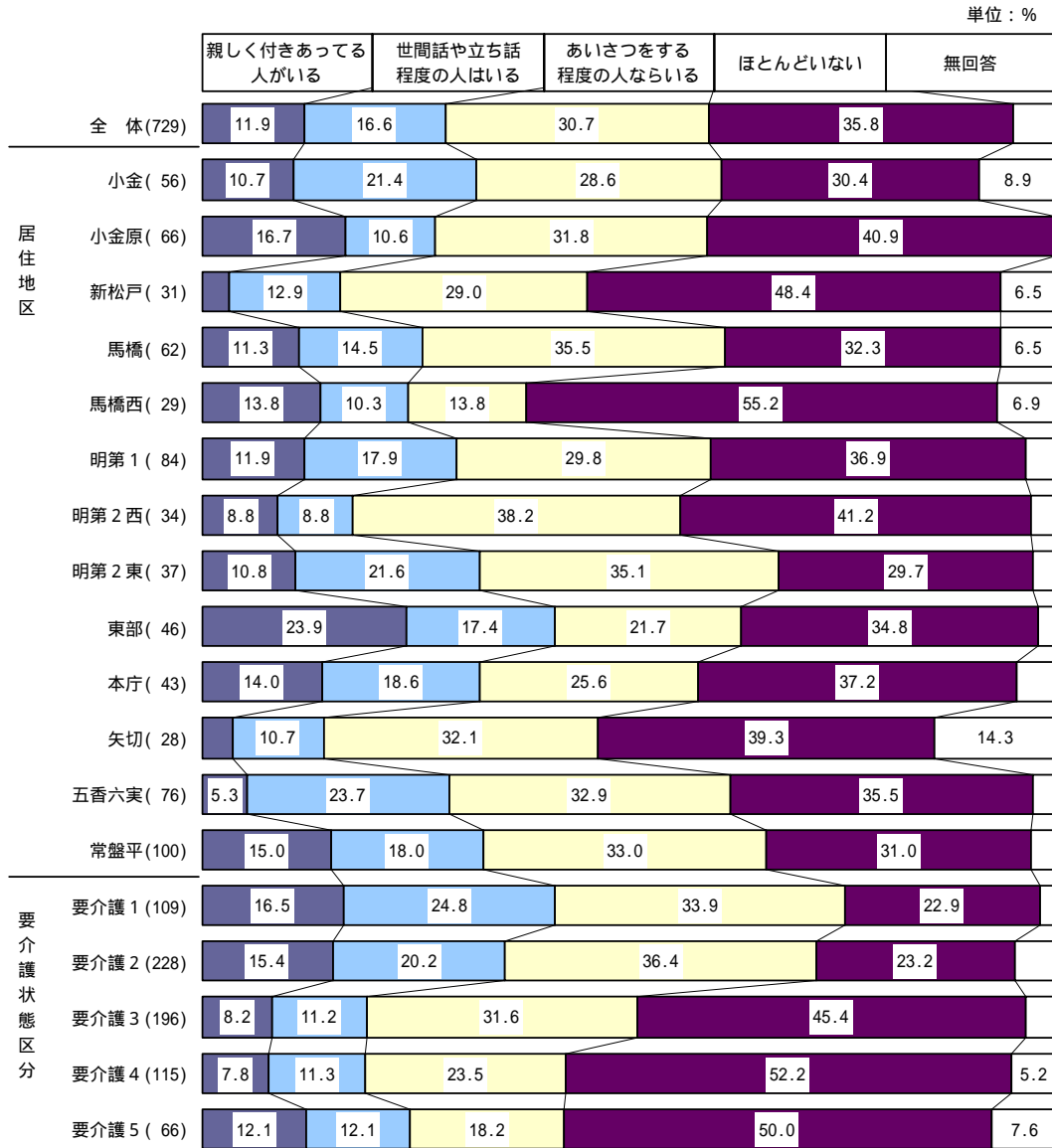


[居住地区]

「付き合っている人はほとんどいない」は、馬橋西 55.2%、新松戸 48.4%、明第2西 41.2%、小金原 40.9%などの順である。

[要介護状態区分]

「付き合っている人はほとんどいない」は、要介護3の45.4%を境に多くなる。ちなみに要介護2は23.2%である。

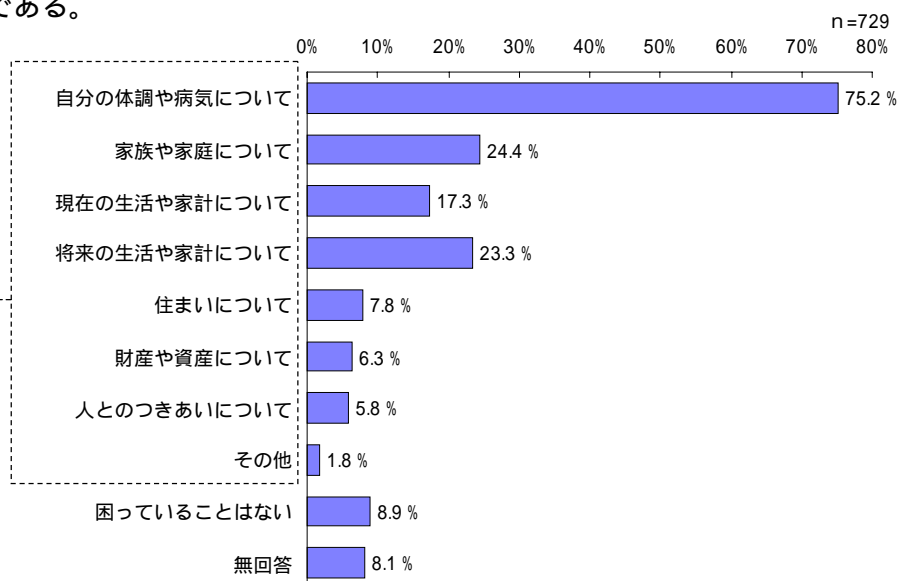


注：5%未満の数値は記入していない ()は回答数

(10) 不安・心配の内容

問6 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

不安・心配の内容で最も多いのが、「自分の体調や病気について」の75.2%であり、7～8割の人があげている。以下とはやや差があり、「家族や家庭について」24.4%、「将来の生活や家計について」23.3%、「現在の生活や家計について」17.3%などである。1割近い人は「困っていることはない」である。



【ひとり暮らし・日中独居】

「自分の体調や病気について」は、ひとり暮らし82.6%、日中いつもひとりであることの多い人は77.8%といずれも多い。次いでひとり暮らしは「将来の生活や家計について」31.2%、日中いつもひとりであることの多いは「家族や家庭について」37.0%である。

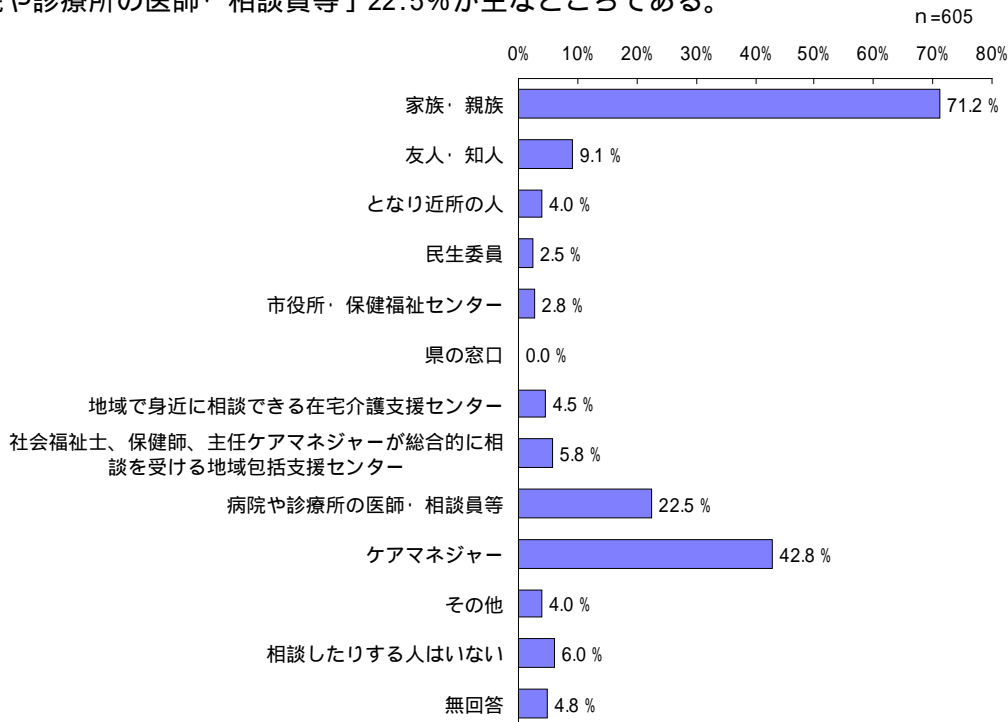
単位：%

	回答者数 (人)	自分の体調や病気について	家族や家庭について	現在の生活や家計について	将来の生活や家計について	住まいについて	財産や資産について	人とのつきあいについて	その他	困っていることはない	無回答
全体	729	75.2	24.4	17.3	23.3	7.8	6.3	5.8	1.8	8.9	8.1
家同族居											
ひとり暮らし	109	82.6	12.8	16.5	31.2	8.3	7.3	9.2	1.8	6.4	3.7
日中独居											
いつもある	81	77.8	37.0	23.5	27.2	12.3	9.9	12.3	3.7	3.7	7.4
ときどきある	239	82.4	29.7	23.0	28.0	10.5	7.9	5.9	0.4	5.9	4.2
ひとりであることはない	182	67.6	22.0	11.5	16.5	3.8	3.8	2.7	2.2	15.4	10.4

(11) 不安・心配の相談相手

問6-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

相談相手で最も多いのは「家族・親族」71.2%である。次いで「ケアマネジャー」42.8%、「病院や診療所の医師・相談員等」22.5%が主なところである。



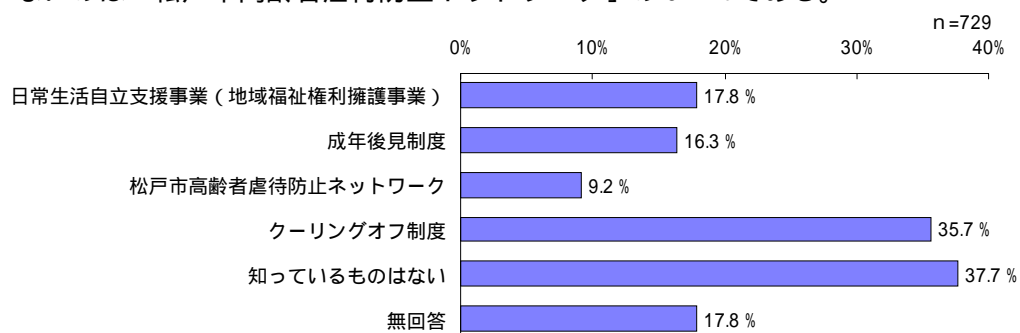
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人、いずれも「家族・親族」「ケアマネジャー」「病院や診療所の医師・相談員等」の順であるが、ひとり暮らしでは「民生委員」の9.2%日中ひとりであることの多い人では「相談したりする人はいない」が12.5%である。

(12) 権利擁護等の制度や仕組み

問7 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

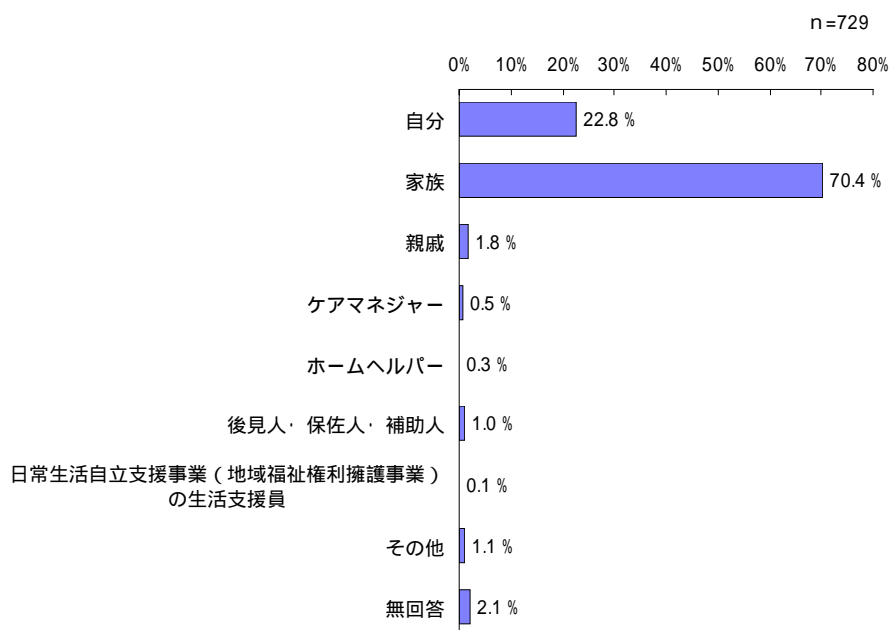
「知っているものはない」37.7%、「クーリングオフ制度」35.7%が同程度である。以下「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)」17.8%と「成年後見制度」16.3%が同程度であり、最も少ないのは「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」の9.2%である。



(13) 日常の金銭管理

問8 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

日常生活に関わる金銭管理は、「家族」70.4%、「自分」22.8%で9割を超える。



[要介護状態区分]

「自分」は要介護1、33.0%、要介護2、39.9%、要介護3、14.8%、要介護4、5.2%など、要介護3を境に少なくなる。

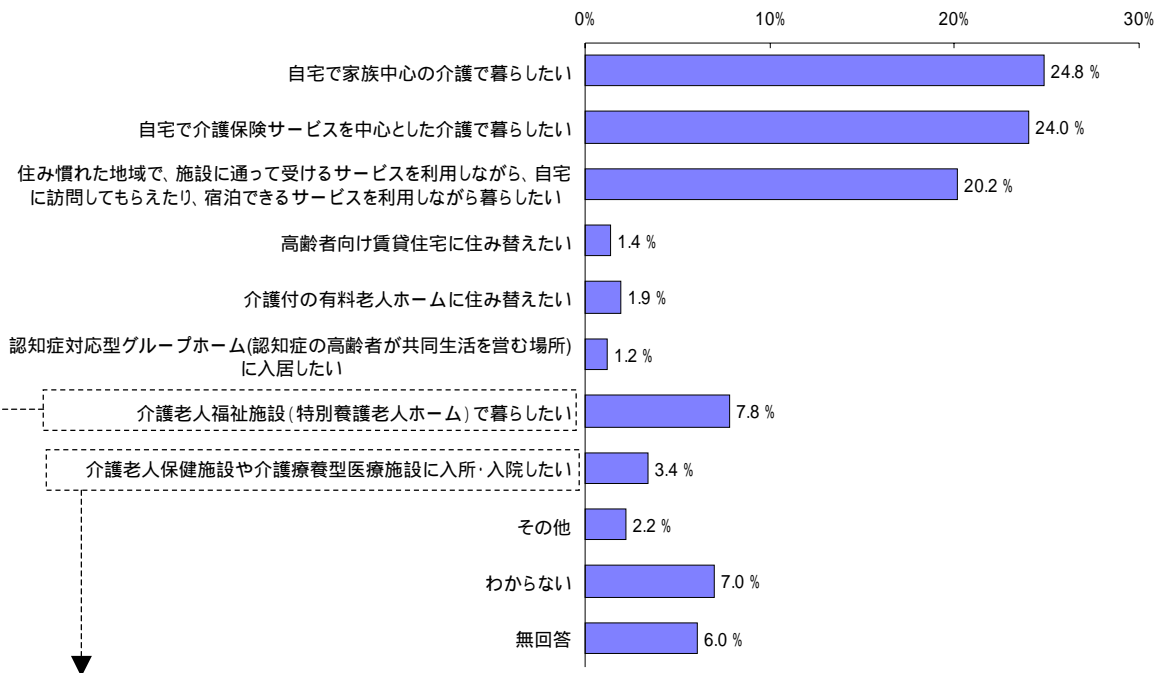
3. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

問9 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか(1つに)

「自宅で家族中心の介護で暮らしたい」24.8%、「自宅で介護保険サービスを中心とした介護で暮らしたい」24.0%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」20.2%が主なものであり、これらで約7割である。

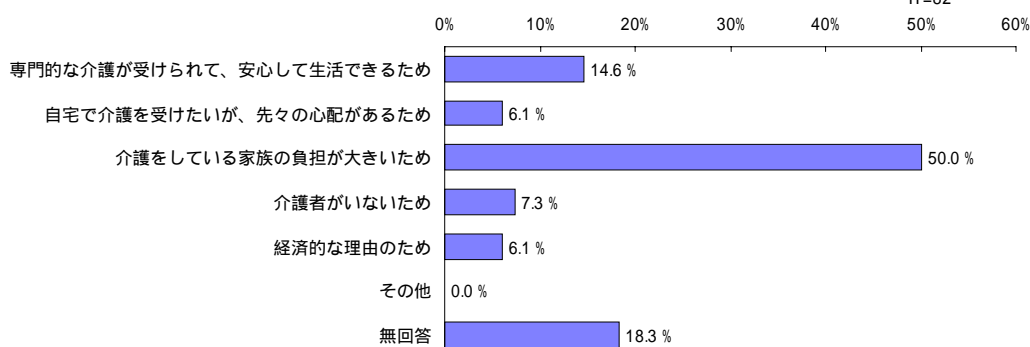
以下、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」7.8%、「わからない」7.0%、「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」3.4%などである。 n=729



(2) 施設希望の理由

問9-1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

問9で「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」及び「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「介護をしている家族の負担が大きいため」50.0%、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」14.6%、「介護者がいないため」7.3%などである。 n=82



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「介護をしている家族の負担が大きい」と及び「介護者がいない」とともに28.6%が最も多い。

日中いつもひとりであることの多い人は「介護をしている家族の負担が大きい」と66.7%がとくに多くなっている。

単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きい	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答	
全 体	82	14.6	6.1	50.0	7.3	6.1	0.0	18.3	
家 同 族 居	ひとり暮らし	14	21.4	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	21.4
独 日 居 中	いつもある	12	16.7	0.0	66.7	0.0	8.3	0.0	8.3

[要介護状態区分]

「介護をしている家族の負担が大きい」とは要介護4の69.2%が最も多く、次いで要介護3の58.3%、要介護5の50.0%などである。これに対して「専門的な介護が受けられて安心して生活できるため」は要介護5、25.0%、要介護2、20.8%、要介護3、12.5%などの順である。

単位：%

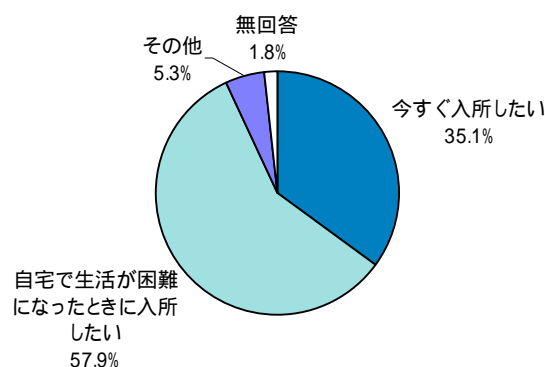
	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きい	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答	
全 体	82	14.6	6.1	50.0	7.3	6.1	0.0	18.3	
状 態 区 分	要介護1	11	9.1	9.1	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1
	要介護2	24	20.8	8.3	41.7	8.3	4.2	0.0	16.7
	要介護3	24	12.5	8.3	58.3	0.0	4.2	0.0	20.8
	要介護4	13	7.7	0.0	69.2	7.7	7.7	0.0	15.4
	要介護5	8	25.0	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5

(3) 施設に入所したい時期

問9-2 いつ介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所したいですか。（1つに）

問9で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」と答えた人に、いつ入所したいかを聞いた。「自宅で生活が困難になったときに入所したい」が57.9%、「今すぐ入所したい」が35.1%である。

n=57



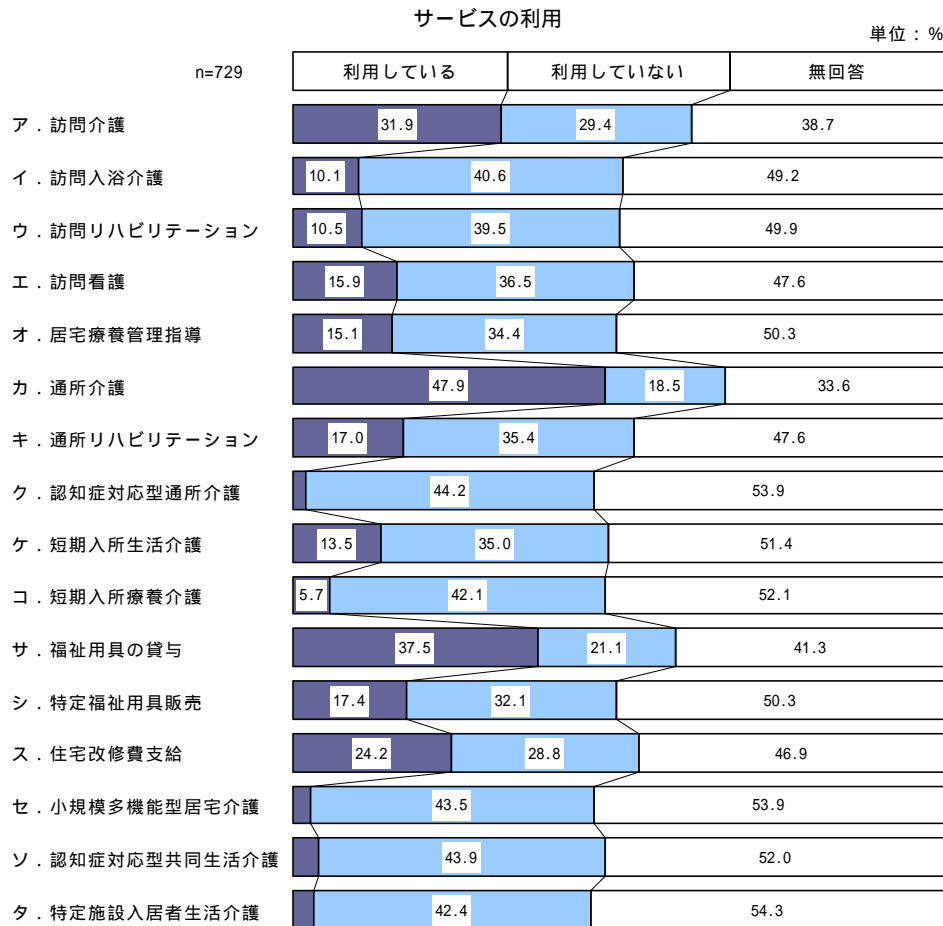
4. 介護保険サービスの利用について

(1) 利用の有無

問10 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

「利用している」が最も多いのが「通所介護」の47.9%、次いで「福祉用具の貸与」37.5%、「訪問介護」31.9%、「住宅改修費支給」24.2%、「特定福祉用具販売」17.4%、「通所リハビリテーション」17.0%などである。

これに対し「利用していない」は、「認知症対応型通所介護」44.2%。「認知症対応型共同生活介護」43.9%、「小規模多機能型居宅介護」43.5%、「特定施設入居者生活介護」42.4%、「短期入所療養介護」42.1%などである。



注：5%未満の数値は表記していない

[要介護状態区分]

利用が20%を超えるサービスについてみる。

- ・ 訪問介護……………要介護5の48.4%以外は、30%内外である。
- ・ 通所介護……………要介護5の25.8%以外は、50%内外である。
- ・ 福祉用具の貸与……………介護度の重さに比例して多くなる。
- ・ 住宅改修費支給……………要介護3、30.1%、要介護4、27.0%などの順である。

単位：％

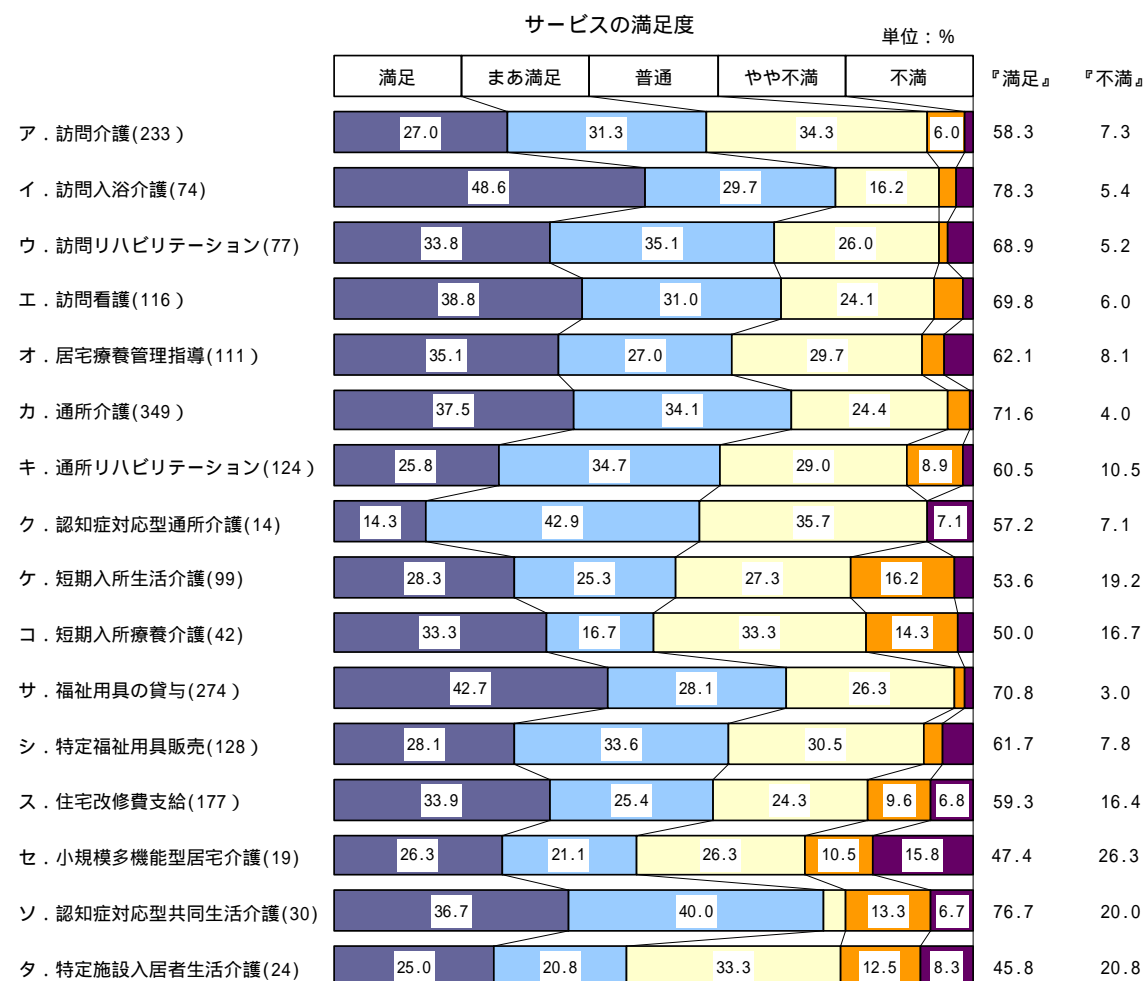
	回答者数 (人)	訪問介護	通所介護	福祉用具 の貸与	住宅改修 費支給
要介護1	109	25.7	51.3	11.9	15.6
要介護2	228	34.2	48.3	33.8	23.7
要介護3	196	29.6	52.6	42.9	30.1
要介護4	115	29.6	51.3	52.2	27.0
要介護5	66	48.4	25.8	57.6	21.2

(2) 満足度

「満足」が最も多いのは「訪問入浴介護」48.6%、次いで「福祉用具の貸与」42.7%、「訪問看護」38.8%、「通所介護」37.5%、「認知症対応型共同生活介護」36.7%、「居宅療養管理指導」35.1%などの順である。

「満足」に「まあ満足」を合わせた『満足』についても、「訪問入浴介護」78.3%、「認知症対応型共同生活介護」76.7%、「通所介護」71.6%、「福祉用具の貸与」70.8%、「訪問看護」69.8%などの順であり、上位項目は変わらない。

これに対し「不満」は少なく、「小規模多機能型居宅介護」15.8%のみ2ケタである。「不満」に「やや不満」を合わせた『不満』は、「小規模多機能型居宅介護」の26.3%、「特定施設入居者生活介護」の20.8%、「認知症対応型共同生活介護」20.0%、「短期入所生活介護」19.2%、「短期入所療養介護」16.7%などの順である。『満足』の上位項目とは「認知症対応型共同生活介護」のみ重なり、評価の分かれるところとなっている。



注：5%未満の数値は表記していない
()は回答者数

丸数字は順位

【 経年比較 】

『満足』の経年比較をみると、前回調査までの『満足』への上昇傾向が今回調査でも引き継がれているサービスは、「福祉用具の貸与」及び「特定福祉用具販売」などである。

「訪問介護」や「訪問看護」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」、「短期入所療養介護」、「特定施設入所者生活介護」などでは、いずれも『満足』が減っており、なかでも「訪問介護」は10ポイント以上である。

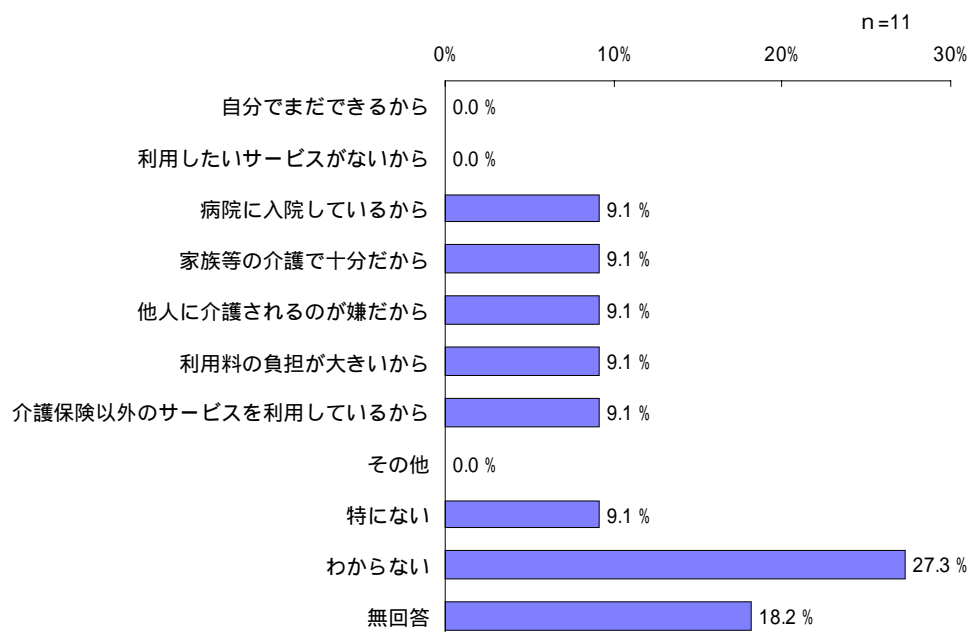
経年比較 利用している介護保険サービスの満足度

サービス名	調査年	件数 (人)	満足 (%)	不満足 (%)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	平成20年（今回）	233	58.3	7.3
	平成17年	1,746	73.9	7.0
	平成14年	381	76.9	5.0
	平成11年	376	72.3	7.7
訪問入浴介護	平成20年（今回）	74	78.3	5.4
	平成17年	433	79.0	3.0
	平成14年	162	80.9	3.7
	平成11年	138	77.6	5.8
訪問リハビリテーション	平成20年（今回）	77	68.9	5.2
	平成17年	259	68.0	5.0
	平成14年	53	67.9	3.8
	平成11年	61	67.3	8.2
訪問看護	平成20年（今回）	116	69.8	6.0
	平成17年	465	74.8	3.0
	平成14年	174	81.0	2.9
	平成11年	166	74.1	4.8
居宅療養管理指導	平成20年（今回）	111	62.1	8.1
	平成17年	173	60.7	5.2
	平成14年	32	59.4	6.3
	平成11年	27	66.6	3.7
通所介護（デイサービス）	平成20年（今回）	349	71.6	4.0
	平成17年	1,230	74.0	4.7
	平成14年	325	78.2	3.7
	平成11年	388	76.5	5.1
通所リハビリテーション（デイケア）	平成20年（今回）	124	60.5	10.5
	平成17年	438	66.4	5.1
	平成14年	129	71.3	10.1
	平成11年	128	67.2	10.9
認知症対応型通所介護	平成20年（今回）	14	57.2	7.1
短期入所生活介護（特別養護老人ホーム等が行うショートステイ）	平成20年（今回）	99	53.6	19.2
	平成17年	259	51.7	12.7
	平成14年	170	64.1	14.1
	平成11年	197	54.8	21.3
短期入所療養介護（老人保健施設や医療機関等が行うショートステイ）	平成20年（今回）	50	50.0	16.7
	平成17年	139	56.9	8.6
	平成14年	39	59.0	10.3
	平成11年	53	49.0	15.1
福祉用具の貸与	平成20年（今回）	274	70.8	3.0
	平成17年	1,228	68.3	3.5
特定福祉用具販売	平成20年（今回）	128	61.7	7.8
	平成17年	401	51.6	8.5
住宅改修費支給	平成20年（今回）	177	59.3	16.4
	平成17年	182	59.4	7.7
	平成14年	140	77.1	12.9
	平成11年	54	50.0	20.4
小規模多機能型居宅介護	平成20年（今回）	19	47.4	26.3
認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	平成20年（今回）	30	76.7	20.0
	平成17年	45	77.7	15.5
	平成14年	5	80.0	20.0
	平成11年	7	57.2	42.9
特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等での介護）	平成20年（今回）	24	45.8	20.8
	平成17年	120	55.0	13.3
	平成14年	18	66.7	11.1
	平成11年	32	71.9	12.5

(3) サービスを利用していない理由 (問 10 で「利用していない」に をつけた人)

問 10- 1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1 つに)

問 10 でどのサービスも利用していない理由を聞いているが、回答者が 11 人と少ない。「わからない」が 3 人、27.3%、「病院に入院しているから」及び「家族等の介護で十分だから」、「他人に介護されるのが嫌だから」、「利用料の負担が大きいから」、「介護保険以外のサービスを利用しているから」がそれぞれ 1 人、9.1%である。



(4) 満足の理由 (問 10 で「満足」「まあ満足」に をつけた人)

問 10- 2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問 10 の各種介護保険サービスについて『満足』と答えた理由を聞いた。16 あるサービスのうち、「訪問介護」及び「訪問入浴介護」、「訪問リハビリテーション」、「訪問看護」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」の 6 つのサービスで、「サービス担当者の心構えや対応がよい」を 1 位としている。次いで「家族などの介護負担が減った」であり、「認知症対応型通所介護」、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」、「認知症対応型共同生活介護」の 4 つのサービスで 1 位、「希望するサービスが受けられた」は「福祉用具の貸与」、「特定福祉用具販売」、「住宅改修費支給」の 3 つのサービスで 1 位となっている。

また、「自分でサービス事業者を選べた」は「小規模多機能型居宅介護」で、「サービスの内容・技術がよい」は「特定施設入居者生活介護」で、「在宅生活が続けられる」は「居宅療養管理指導」でそれぞれ 1 位である。

上位3位をみてわかるように、「サービス担当者の心構えや対応がよい」や「希望するサービスが受けられた」、「在宅生活が続けられる」、「家族などの介護負担が減った」は、満足の大きな理由となっている。しかし一方で、「リハビリテーション」では「サービスの内容・技術がよい」、「訪問看護」や「居宅療養管理指導」では「かかりつけ医との連携」などもあげられ、サービスの性格によって満足理由は違ってくる。

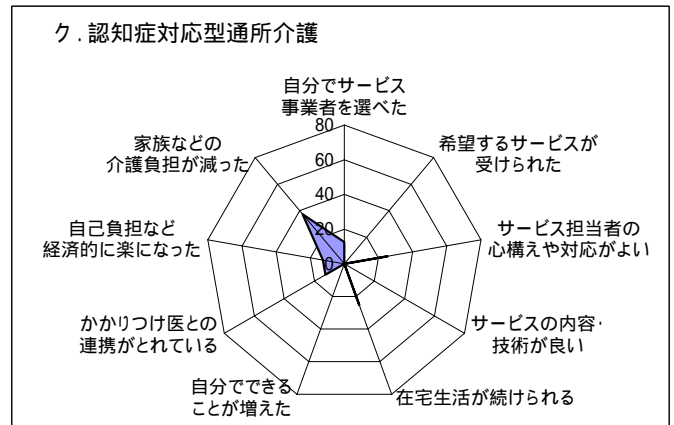
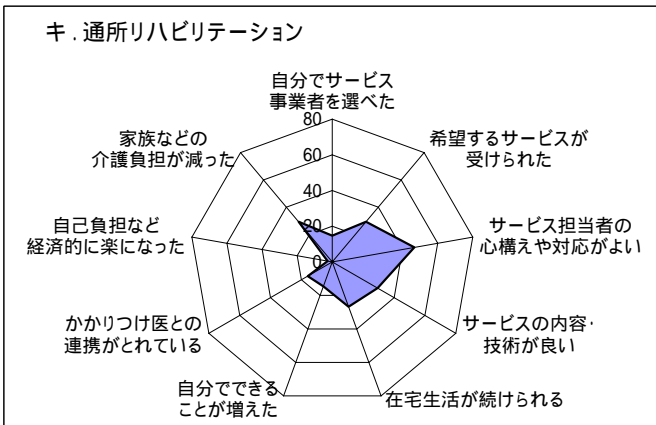
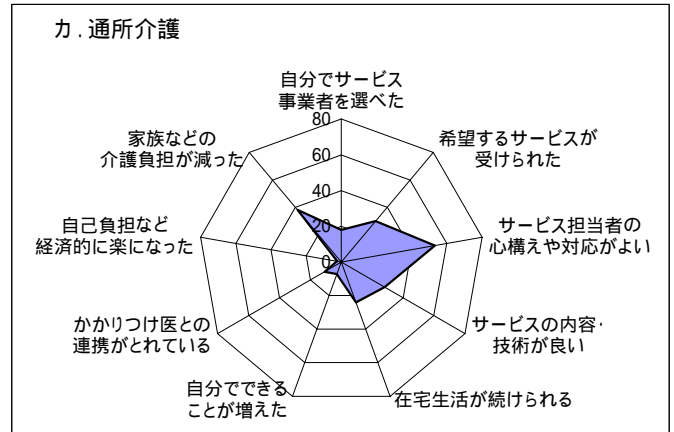
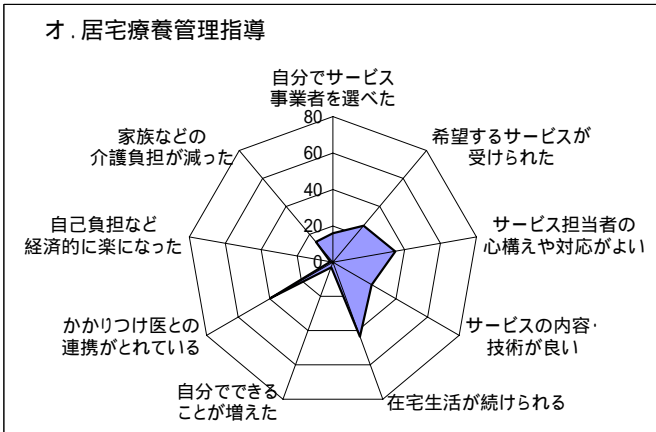
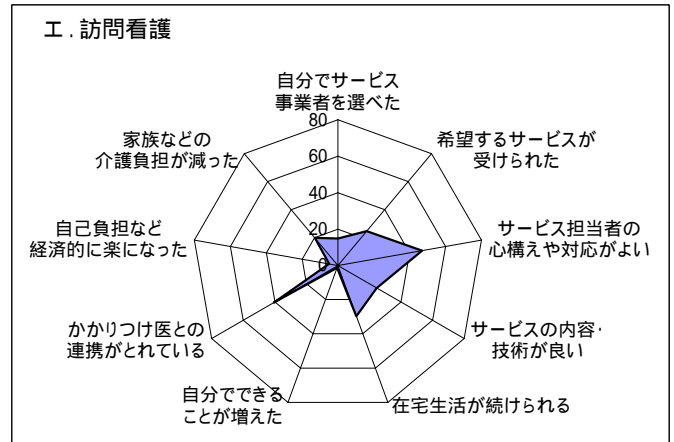
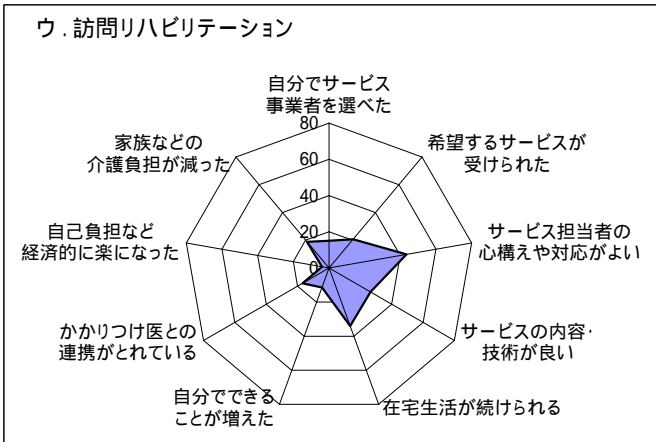
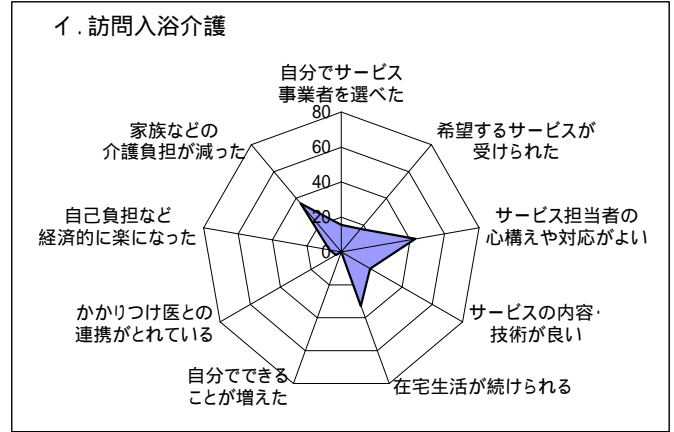
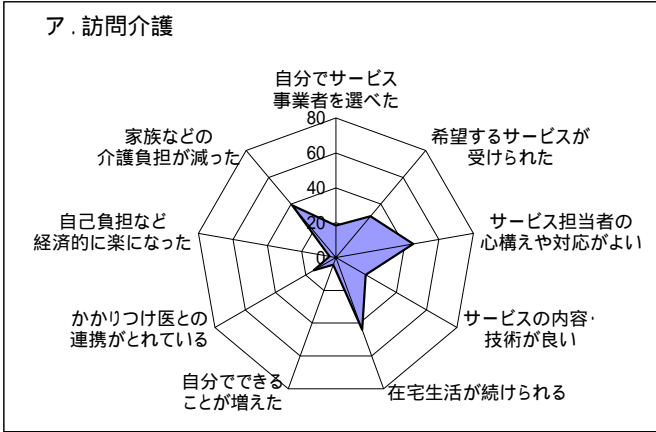
サービスの種類にみる満足の理由

単位：%

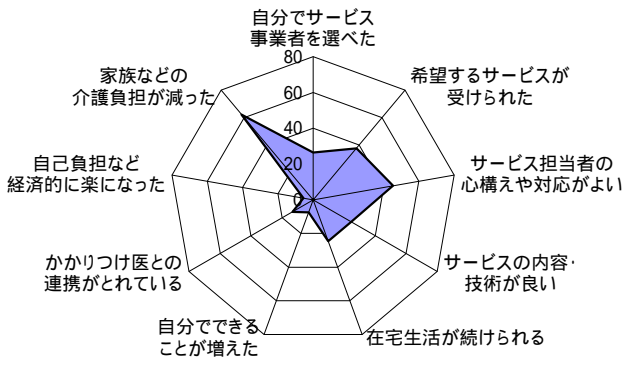
サービスの種類	回答者数(人)	自分でサービス事業者を選べた	希望するサービスが受けられた	サービス担当者への心構えや対応がよい	サービスの内容・技術がよい	在宅生活が続けられる	自分のできるが増えた	かかりつけ医との連携がとれている	経済的に楽になった	自己負担などが減った	家族などの介護負担が減った	その他	無回答
ア．訪問介護	136	18.4	30.9	44.9	19.9	44.1	4.4	14.7	3.7	39.0	1.5	16.9	
イ．訪問入浴介護	58	15.5	17.2	43.1	19.0	32.8	0.0	3.4	6.9	36.2	0.0	22.4	
ウ．訪問リハビリテーション	53	15.1	20.8	43.4	26.4	34.0	11.3	17.0	3.8	18.9	1.9	15.1	
エ．訪問看護	81	14.8	24.7	46.9	24.7	29.6	1.2	40.7	4.9	19.8	0.0	21.0	
オ．居宅療養管理指導	69	15.9	26.1	34.8	24.6	43.5	2.9	39.1	1.4	14.5	1.4	27.5	
カ．通所介護	250	18.0	30.0	53.2	28.0	24.0	7.2	10.8	2.4	38.0	1.6	21.2	
キ．通所リハビリテーション	75	14.7	29.3	46.7	29.3	26.7	14.7	16.0	2.7	29.3	1.3	30.7	
ク．認知症対応型通所介護	8	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	25.0	
ケ．短期入所生活介護	53	26.4	37.7	45.3	24.5	24.5	7.5	13.2	5.7	62.3	0.0	18.9	
コ．短期入所療養介護	21	14.3	23.8	28.6	9.5	19.0	14.3	19.0	0.0	47.6	4.8	42.9	
サ．福祉用具の貸与	194	8.8	41.2	23.7	8.2	31.4	10.8	1.5	10.3	19.6	2.1	26.3	
シ．特定福祉用具販売	79	8.9	31.6	12.7	5.1	26.6	10.1	1.3	8.9	11.4	2.5	35.4	
ス．住宅改修費支給	105	8.6	39.0	12.4	9.5	31.4	18.1	1.0	15.2	16.2	1.0	33.3	
セ．小規模多機能型居宅介護	9	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	44.4	
ソ．認知症対応型共同生活介護	23	21.7	43.5	65.2	52.2	13.0	26.1	56.5	4.3	69.6	0.0	8.7	
タ．特定施設入居者生活介護	11	27.3	18.2	36.4	45.5	0.0	0.0	18.2	0.0	27.3	9.1	27.3	

注：丸数字は順位

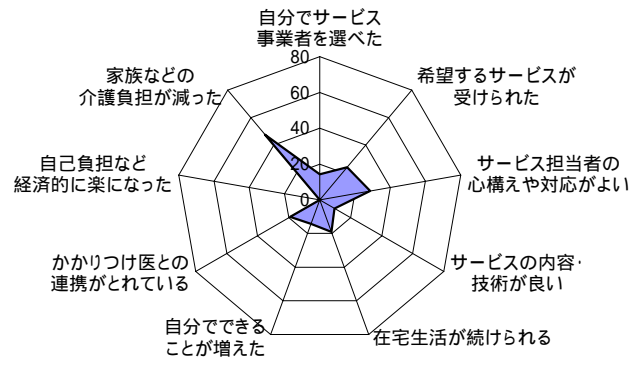
満足の理由比較



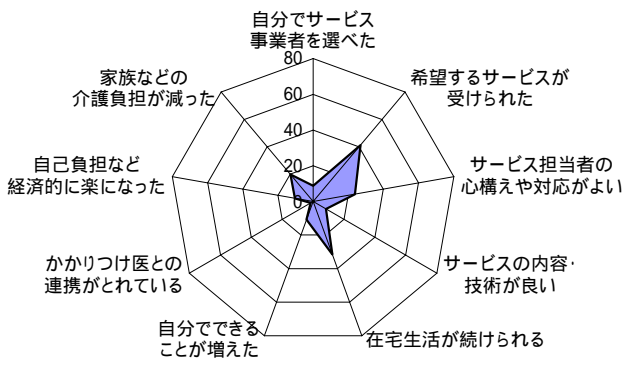
ケ. 短期入所生活介護



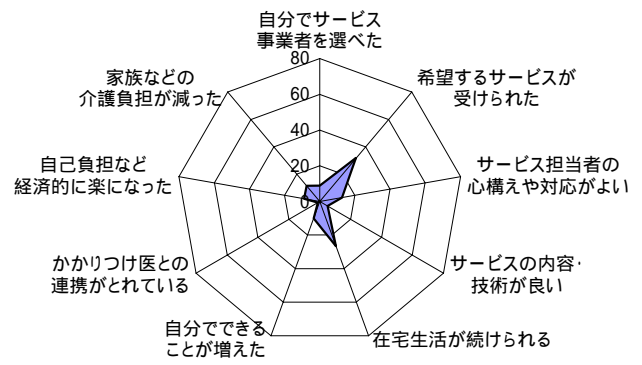
コ. 短期入所療養介護



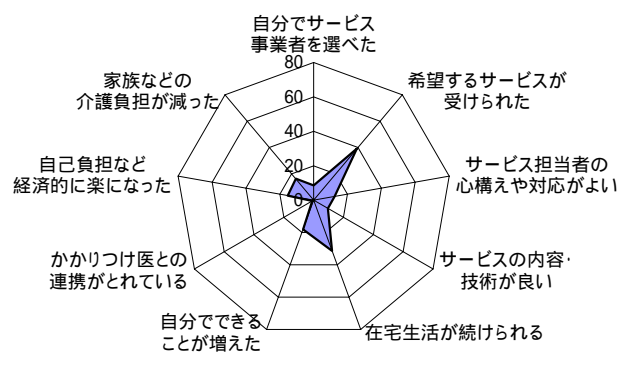
サ. 福祉用具の貸与



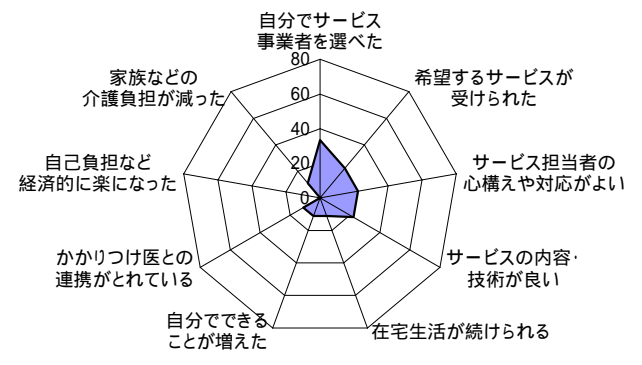
シ. 特定福祉用具販売



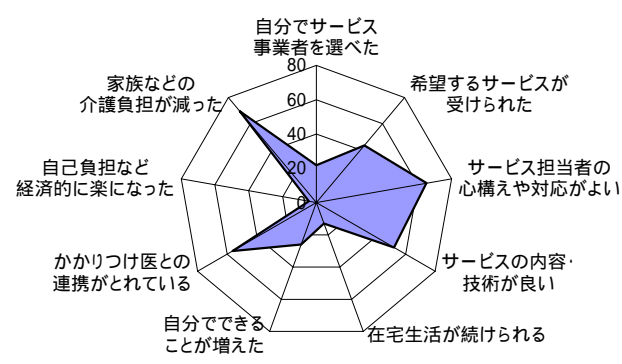
ス. 住宅改修費支給



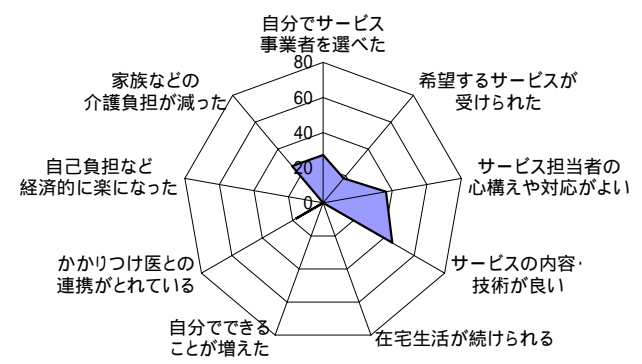
セ. 小規模多機能型居宅介護



ソ. 認知症対応型共同生活介護



タ. 特定施設入居者生活介護



(5) 不満の理由

(問10で「やや不満」「不満」につけた人)

問10-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問10で各種介護保険サービスについての『不満』と答えた理由を聞いた。全般的に回答者が少なかったが、『不満』の主な理由として、「サービスのレベルが低い」や「自己負担が重い」、「希望する日時にサービスを利用できなかった」があげられている。また、「訪問看護」などサービスによっては、「担当者の心構えや対応が悪い」、「担当者が頻繁にかわった」などもあげられている。

サービスの種類にみる不満の理由

単位：%

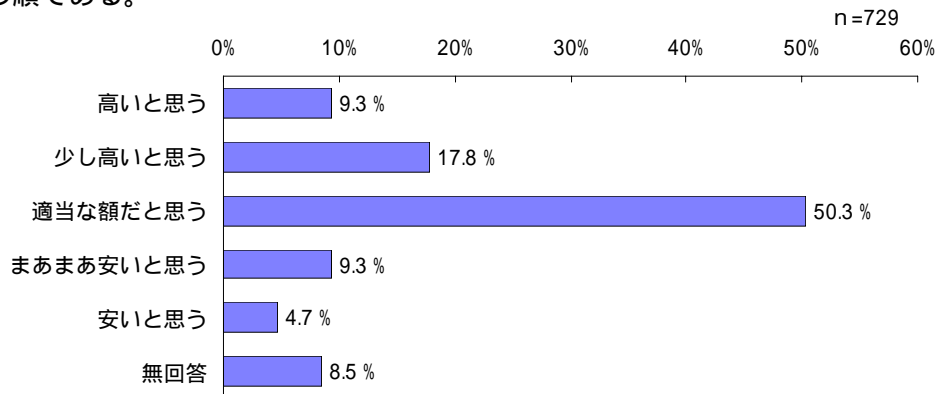
サービスの種類	回答者数(人)	事業者が少ない	希望する日時にサービスを利用できなかった	希望する回数があった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	事業者が要望を聞いてくれなかった	約束どおりサービスを受けられなかった	担当者が頻繁にかわった	自己負担が重い	その他	無回答
ア．訪問介護	17	11.8	29.4	11.8	35.3	47.1	5.9	11.8	11.8	41.2	17.6	5.9	17.6
イ．訪問入浴介護	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0
ウ．訪問リハビリテーション	4	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0
エ．訪問看護	7	0.0	14.3	14.3	57.1	42.9	14.3	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	28.6
オ．居宅療養管理指導	9	11.1	11.1	22.2	44.4	55.6	33.3	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	11.1
カ．通所介護	14	7.1	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	21.4	14.3	7.1	50.0
キ．通所リハビリテーション	13	0.0	7.7	15.4	15.4	46.2	15.4	7.7	0.0	15.4	7.7	15.4	23.1
ク．認知症対応型通所介護	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
ケ．短期入所生活介護	19	15.8	52.6	15.8	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	15.8	26.3	5.3	31.6
コ．短期入所療養介護	7	0.0	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
サ．福祉用具の貸与	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	25.0	37.5
シ．特定福祉用具販売	10	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	40.0	10.0	40.0
ス．住宅改修費支給	29	10.3	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	37.9	6.9	44.8
セ．小規模多機能型居宅介護	5	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	40.0
ソ．認知症対応型共同生活介護	6	0.0	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	50.0	50.0	16.7	16.7
タ．特定施設入居者生活介護	5	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0

注：丸数字は順位

(6) 利用者負担分について

問11 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担分(1割負担)についてどのように感じていますか。(1つに)

利用者負担分(1割負担)については、「適当な額だと思う」が50.3%、半数である。以下「少し高いと思う」17.8%、「高いと思う」及び「まあまあ安いと思う」ともに9.3%、「安いと思う」4.7%の順である。

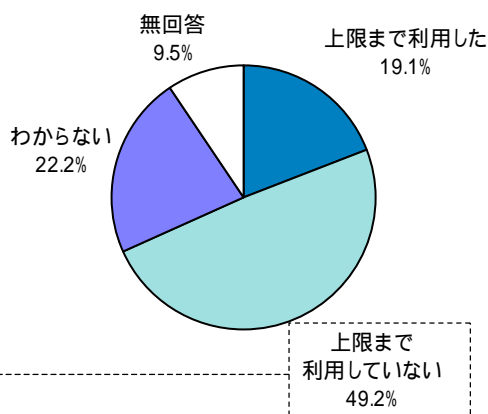


(7) 区分支給限度額の利用

問 12 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限（区分支給限度額）いっぱいまで利用しましたか。（1つに ）

「上限まで利用していない」が49.2%と約半数を占める。次いで「わからない」22.2%、「上限まで利用した」19.1%である。

n=729

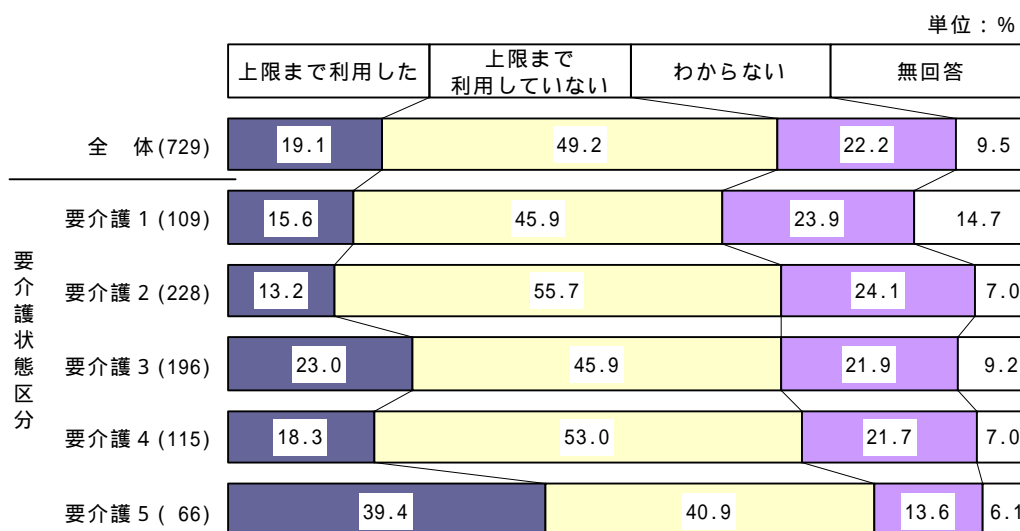


[ひとり暮らし・日中独居]

「上限まで利用した」は、ひとり暮らし20.2%、日中独居21.0%と同程度である。要支援よりは、いずれも少ない。

[要介護状態区分]

「上限まで利用した」は、要介護5が39.4%と、「上限まで利用していない」の40.9%とほぼ同じである。ほかは、要介護1から要介護4までは、「上限まで利用していない」が多い。



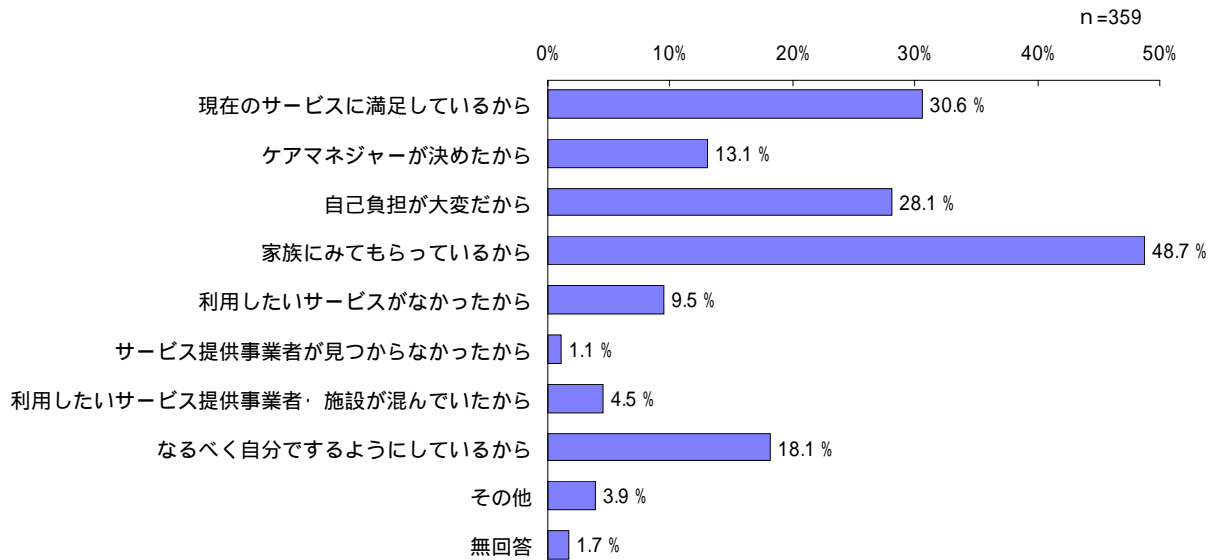
注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(8) 上限まで利用しない理由

問 12-1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

問 12 で「上限まで利用していない」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「家族にみてもらっているから」48.7%、次いで「現在のサービスに満足しているから」30.6%、「自己負担が大変だから」28.1%、「なるべく自分でするようにしているから」18.1%などである。

また、「利用したいサービスがなかったから」9.5%、「利用したいサービス提供事業者・施設が混んでいたから」4.5%、「サービス提供事業者が見つからなかったから」1.1%のように、供給側の理由も 15.1%あげられている。



[要介護状態区分]

「家族にみてもらっているから」は、要介護度が重くなるほど多くなるのに対し、「現在のサービスに満足しているから」は、要介護度が軽いほど多い。

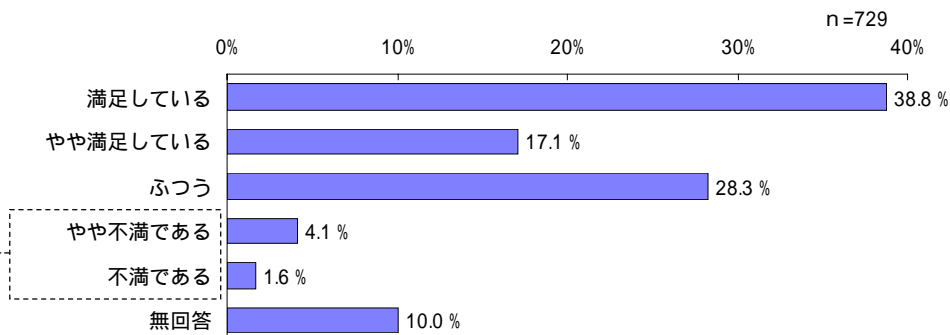
5 . ケアプランについて

(1) ケアプランの満足度

問 13 ケアマネジャーが作成した介護保険サービスの内容(ケアプラン)について、あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1 つに)

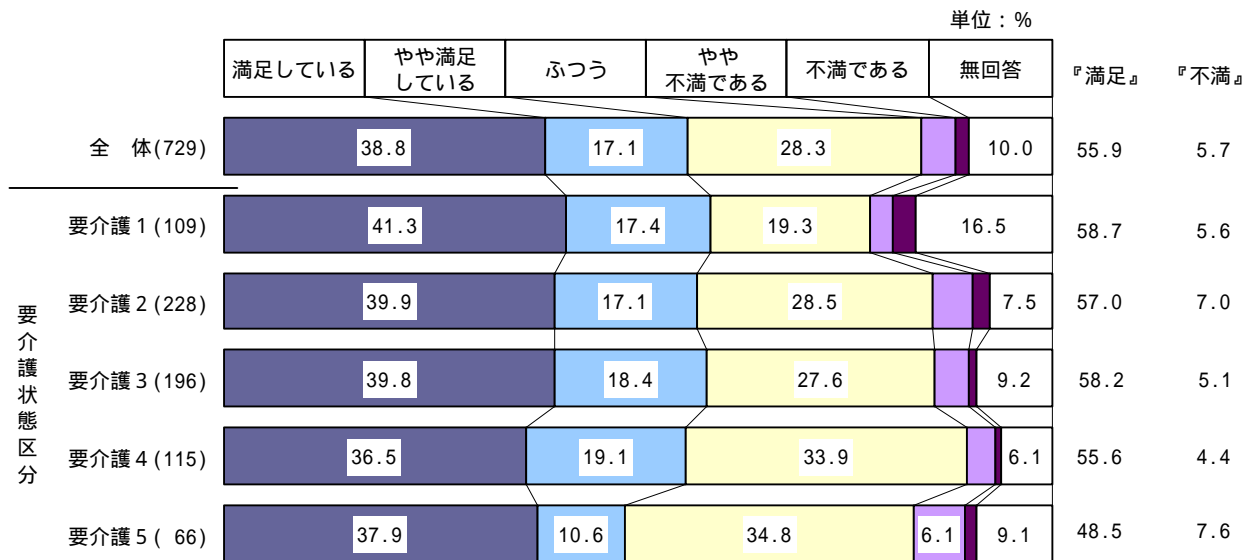
「満足している」が 38.8%と最も多く、次いで「ふつう」28.3%、「やや満足している」17.1%、「やや不満である」4.1%、「不満である」1.6%である。

「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』が 55.9%と半数を超え、「やや不満である」と「不満」を合わせた『不満』は 5.7%と少ない。



[要介護状態区分]

『満足』は要介護 1、58.7%、要介護 3、58.2%、要介護 2、57.0%、要介護 4、55.6%、要介護 5、48.5%の順であり、要介護 5 でやや少ない。

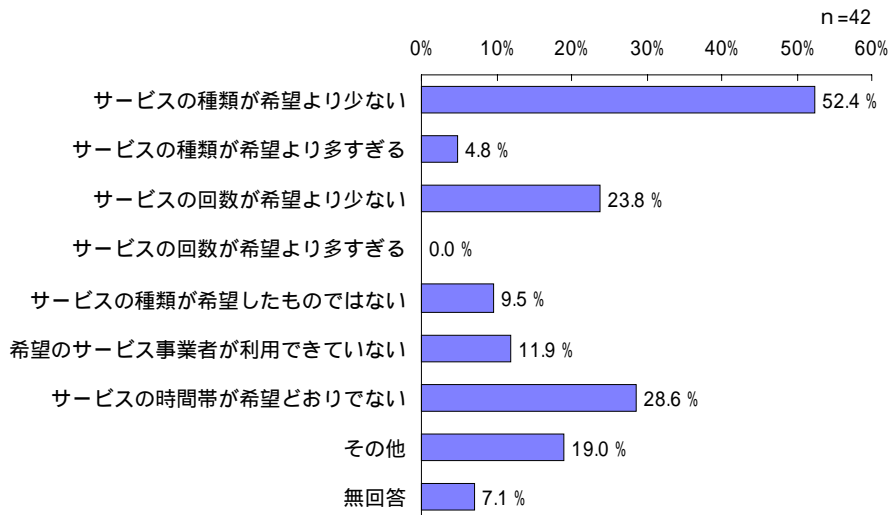


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 不満の内容

問 13- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 13 で『不満』と答えた人にその内容を聞いた。最も多いのが、「サービスの種類が希望より少ない」52.4%、次いで「サービスの時間帯が希望どおりでない」28.6%、「サービスの回数が希望より少ない」23.8%などである。



[要介護状態区分]

要介護1から要介護3までは「サービスの種類が希望より少ない」が最も多い。ただし、要介護1については「サービスの時間帯が希望どおりでない」もあげられている。これに対し、要介護4及び要介護5は「サービスの時間帯が希望どおりでない」である。

単位：%

	回答者数 (人)	サービスの種類が希望より少ない	サービスの種類が希望より多すぎる	サービスの回数が希望より少ない	サービスの回数が希望より多すぎる	サービスの種類が希望したものではない	希望のサービス事業者が利用できていない	サービスの時間帯が希望どおりでない	その他	無回答	
全 体	42	52.4	4.8	23.8	0.0	9.5	11.9	28.6	19.0	7.1	
要介護状態区分	要介護1	6	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
	要介護2	16	56.3	12.5	12.5	0.0	12.5	6.3	6.3	31.3	0.0
	要介護3	10	80.0	0.0	30.0	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0
	要介護4	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0
	要介護5	5	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0

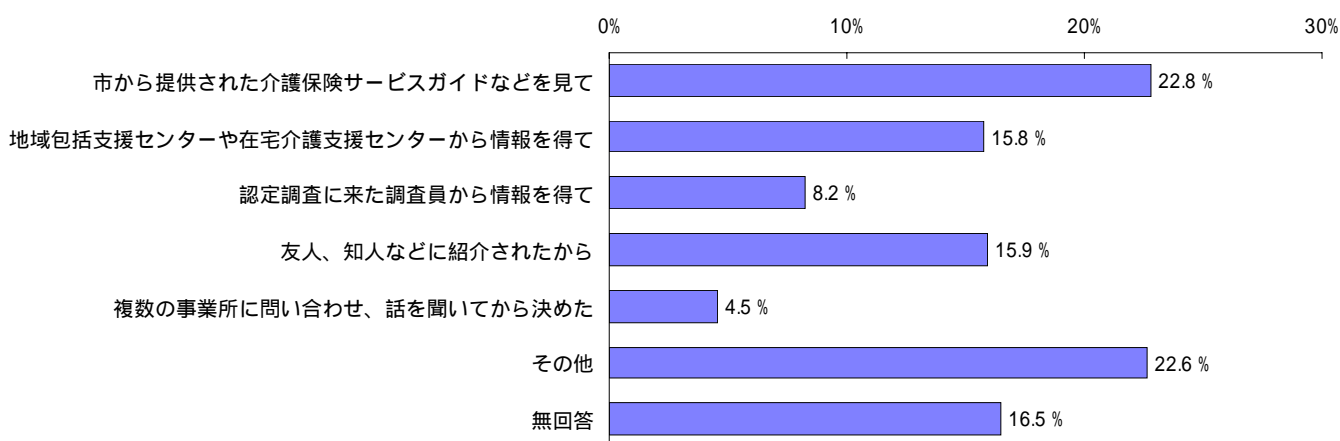
6 . ケアマネジャーについて

(1) ケアマネジャー選定の理由

問 14 ケアプランを作成するケアマネジャーは、どのような理由で選びましたか。
(あてはまるものすべてに)

「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」22.8%が最も多いが、「その他」も同率である。次いで「友人、知人などに紹介されたから」15.9%、「地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て」15.8%、「認定調査に来た調査員から情報を得て」8.2%などである。

n=729



[要介護状態区分]

要介護1は「友人、知人などに紹介されたから」21.1%が、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」19.3%を上回る。要介護2から要介護4までは、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」の各27.6%、22.4%、25.2%と、「その他」の各21.9%、21.9%、27.0%が多く、要介護5は「その他」37.9%が最も多い。

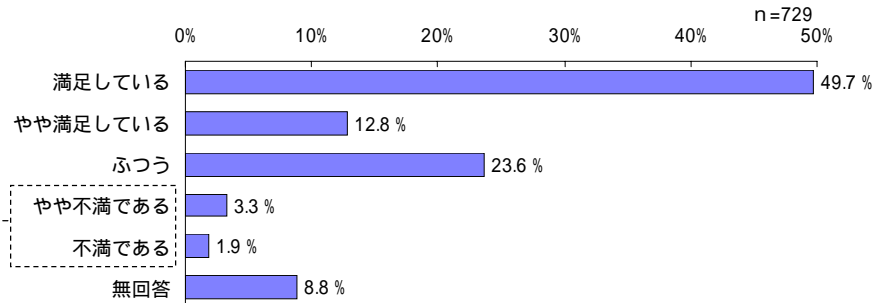
単位：%

	回答者数 (人)	市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て	地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て	認定調査に来た調査員から情報を得て	友人、知人などに紹介されたから	複数の事業所に問い合わせ、話を聞いてから決めた	その他	無回答	
全 体	729	22.8	15.8	8.2	15.9	4.5	22.6	16.5	
要介護状態区分	要介護1	109	19.3	16.5	8.3	21.1	3.7	13.8	24.8
	要介護2	228	27.6	14.0	11.0	13.2	6.6	21.9	12.3
	要介護3	196	22.4	19.9	8.7	17.3	4.6	21.9	13.8
	要介護4	115	25.2	14.8	6.1	12.2	2.6	27.0	13.9
	要介護5	66	10.6	13.6	3.0	19.7	3.0	37.9	16.7
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) ケアマネジャーの満足度

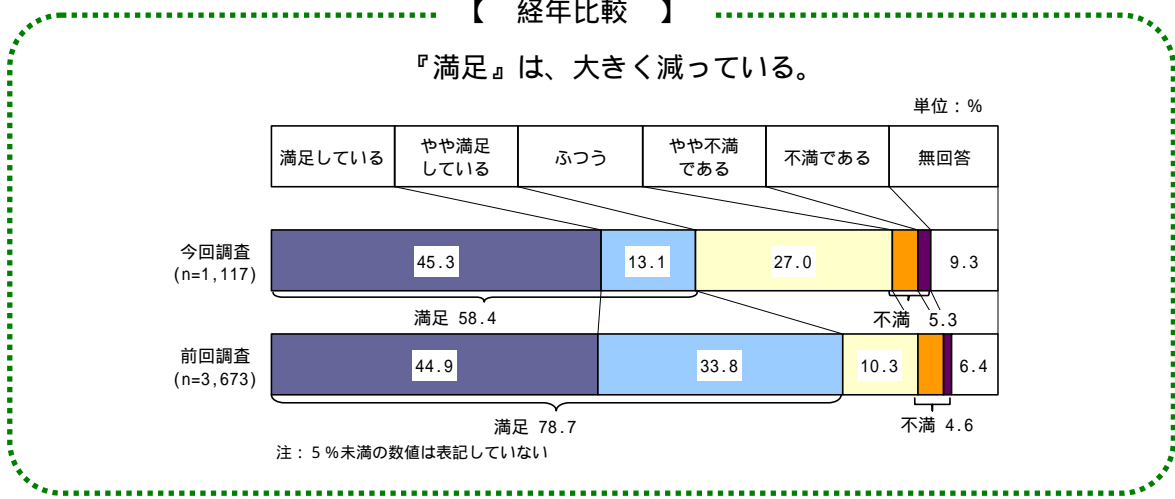
問 15 あなたは、現在のケアマネジャーに満足していますか。(1つに)

「満足している」49.7%、「やや満足している」12.8%であり、合わせた『満足』は62.5%である。これに対し「やや不満である」3.3%と「不満である」1.9%を合わせた『不満』は5.2%である。



【 経年比較 】

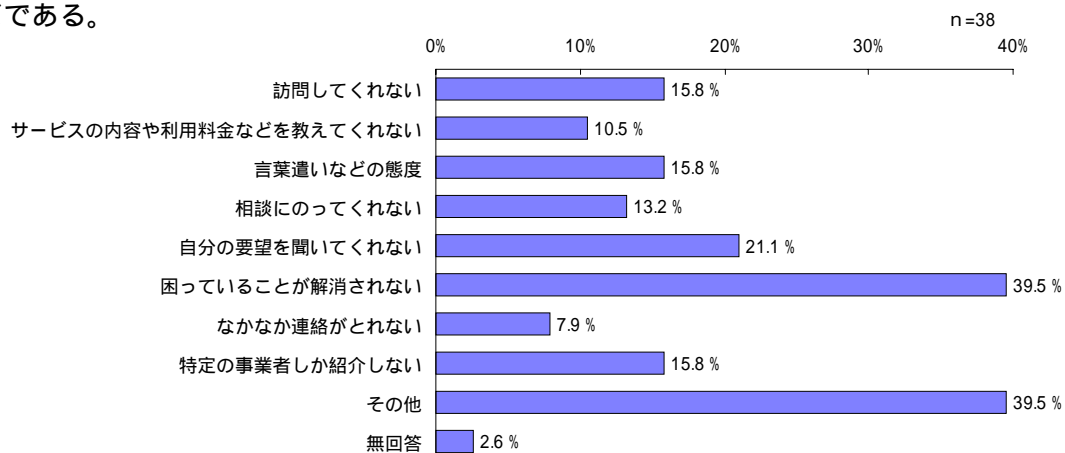
『満足』は、大きく減っている。



(3) 不満の内容

問 15- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 15 で『不満』と答えた人に不満の内容を聞いた。「困っていることが解消されない」39.5%が最も多く、「その他」も同率である。次いで「自分の要望を聞いてくれない」21.1%、「訪問してくれない」及び「言葉づかいなどの態度」15.8%などである。

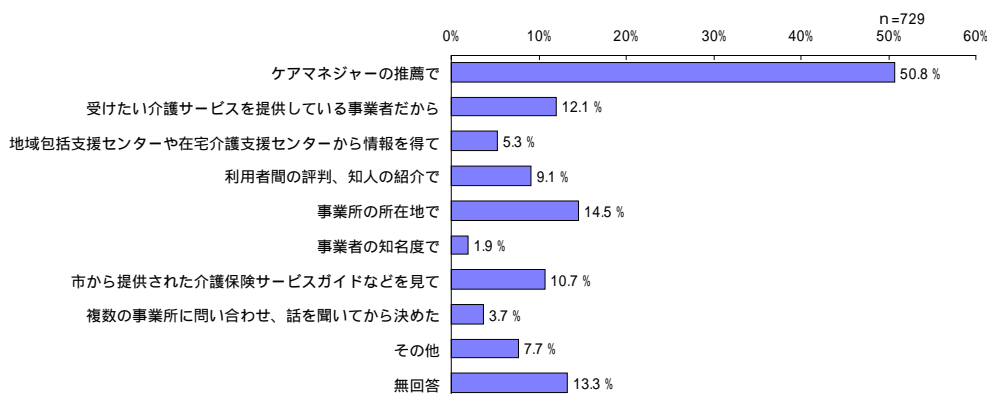


7. サービス事業者について

(1) サービス事業者選定の理由

問 16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

「ケアマネジャーの推薦で」50.8%が最も多い。次はやや差があり、「事業所の所在地で」14.5%、「受きたい介護サービスを提供している事業者だから」12.1%、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」10.7%、「利用者間の評判、知人の紹介で」9.1%などである。

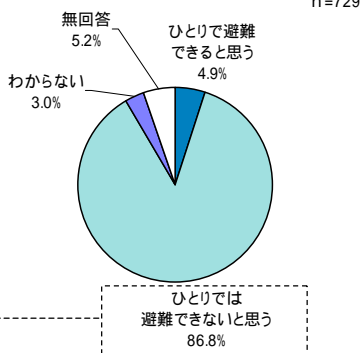


8. 災害など緊急事態の対応について

(1) 緊急時のひとりでの避難

問 17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

「ひとりでは避難できないと思う」86.8%である。「ひとりで避難できると思う」はわずか4.9%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

要介護認定者においては、ひとり暮らしや日中独居にかかわらず「ひとりでは避難できないと思う」が多い。

[居住地区]

「ひとりでは避難できないと思う」は最も少ない五香六実で78.9%、最も多い本庁は95.3%である。

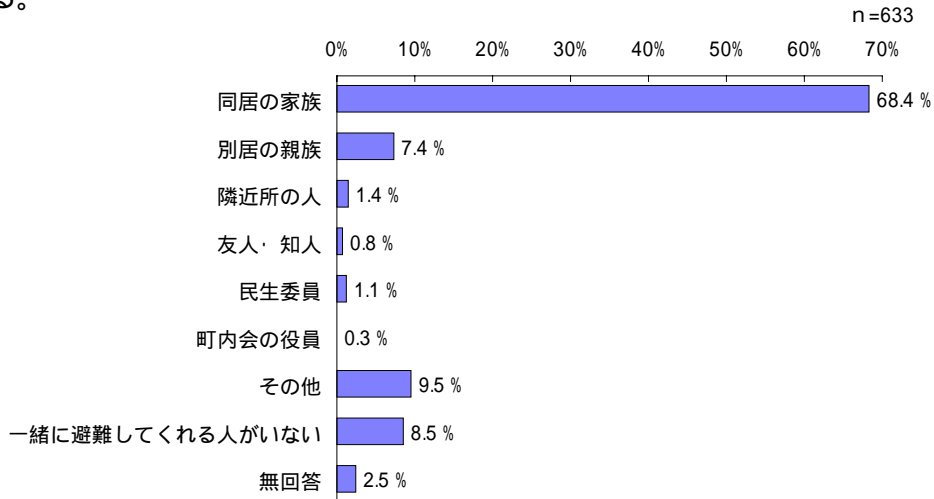
[要介護状態区分]

「ひとりでは避難できないと思う」は要介護1、69.7%、要介護2、87.7%、要介護3、94.4%、要介護4、86.1%、要介護5、97.0%である。

(2) 一緒に避難してくれる人

問 17- 1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

問 17 で「ひとりでは避難できないと思う」と答えた人に聞いたものである。「同居の家族」が 68.4%、「別居の親族」7.4%などであるが、「一緒に避難してくれる人がいない」は約1割、8.5%である。

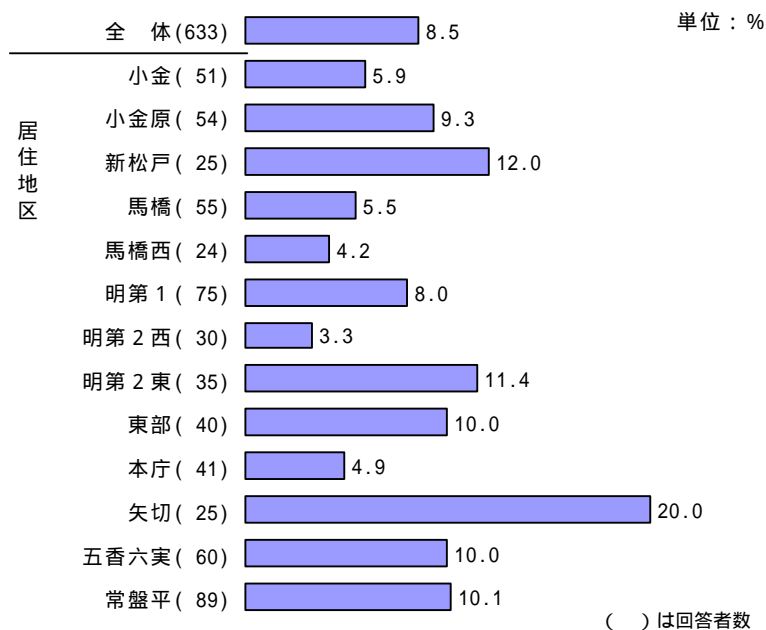


[ひとり暮らし・日中独居]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、ひとり暮らし 24.7%、日中独居では 11.3%である。

[居住地区]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、矢切で 20.0%、次いで新松戸 12.0%、明第 2 東 11.4%などの順である。



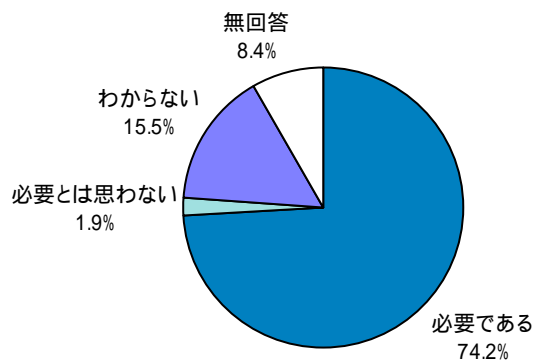
()は回答者数

(3) 災害避難での情報の地域共有

問 18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて
どう思いますか。(1つに)

手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて、「必要である」が74.2%、「必要とは思わない」がわずかに1.9%である。

n=729



[ひとり暮らし・日中独居]

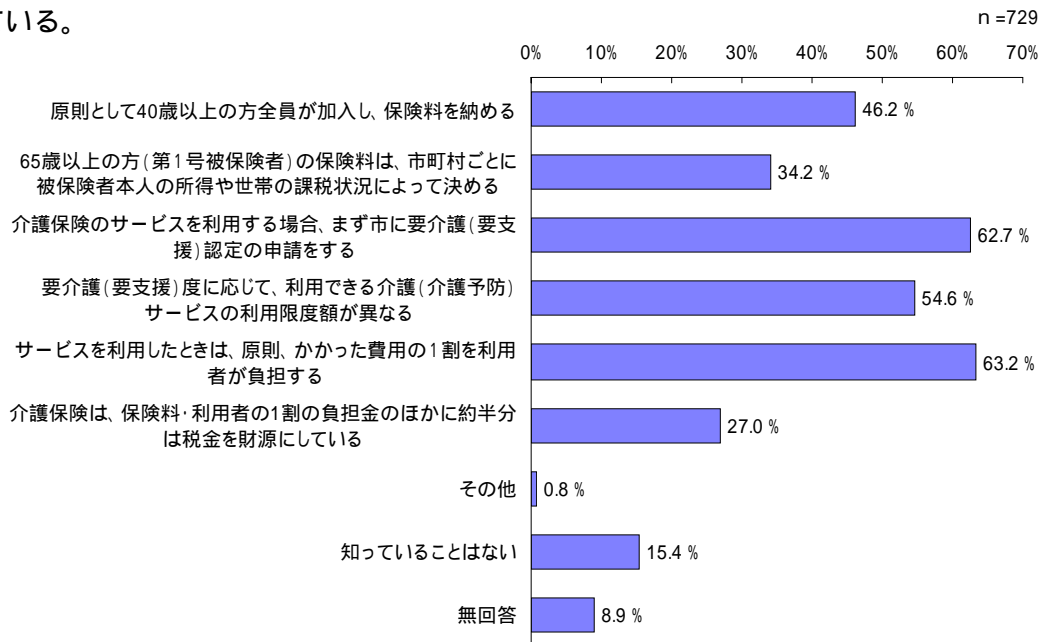
「必要である」は、ひとり暮らし及び日中ひとりであること多い人、各76.1%、71.6%である。

9. 介護保険について

(1) 介護保険制度

問19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

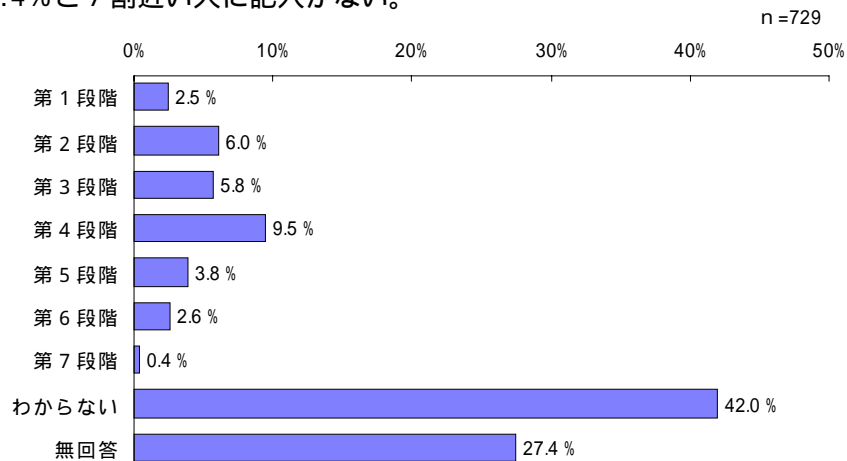
介護保険制度について知っていることとして、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」63.2%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護(要支援)認定の申請をする」62.7%、ほとんど差がない。次いで「要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる」54.6%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」46.2%などである。「知っていることはない」が15.4%となっている。



(2) 平成19年度の介護保険料

問20 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

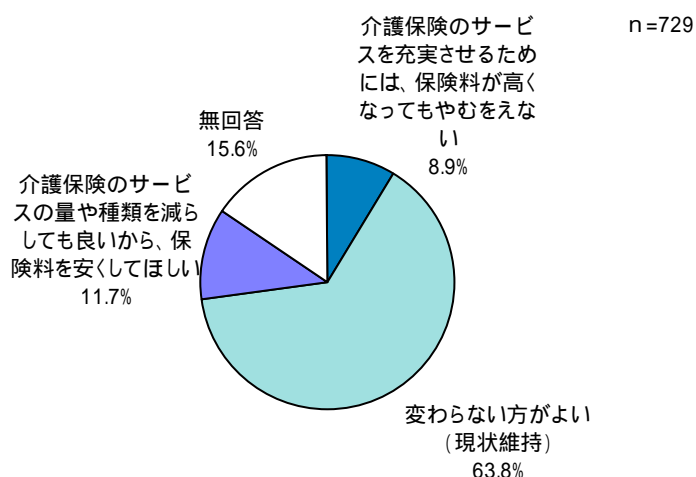
介護保険料の段階は、「第4段階」9.5%、「第2段階」6.0%、「第3段階」5.8%、「第5段階」3.8%、「第6段階」2.6%、「第1段階」2.5%、「第7段階」0.4%であるが、「わからない」42.0%、「無回答」が27.4%と7割近い人に記入がない。



(3) 介護保険料の今後

問21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

「変わらない方がよい(現状維持)」が63.8%、「介護保険のサービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」11.7%、「介護保険のサービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」8.9%である。



[介護保険料の段階]

第7段階は回答者が3人なので参考にとどめる。第1段階から第6段階までいずれも最も多いのは「変わらない方がよい(現状維持)」であるが、中でも第5段階 92.9%と他を大きく引き離している。

「介護保険のサービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」は第1段階の22.2%が、これに対し「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」は第6段階の26.3%がそれぞれ最も多い。

単位：%

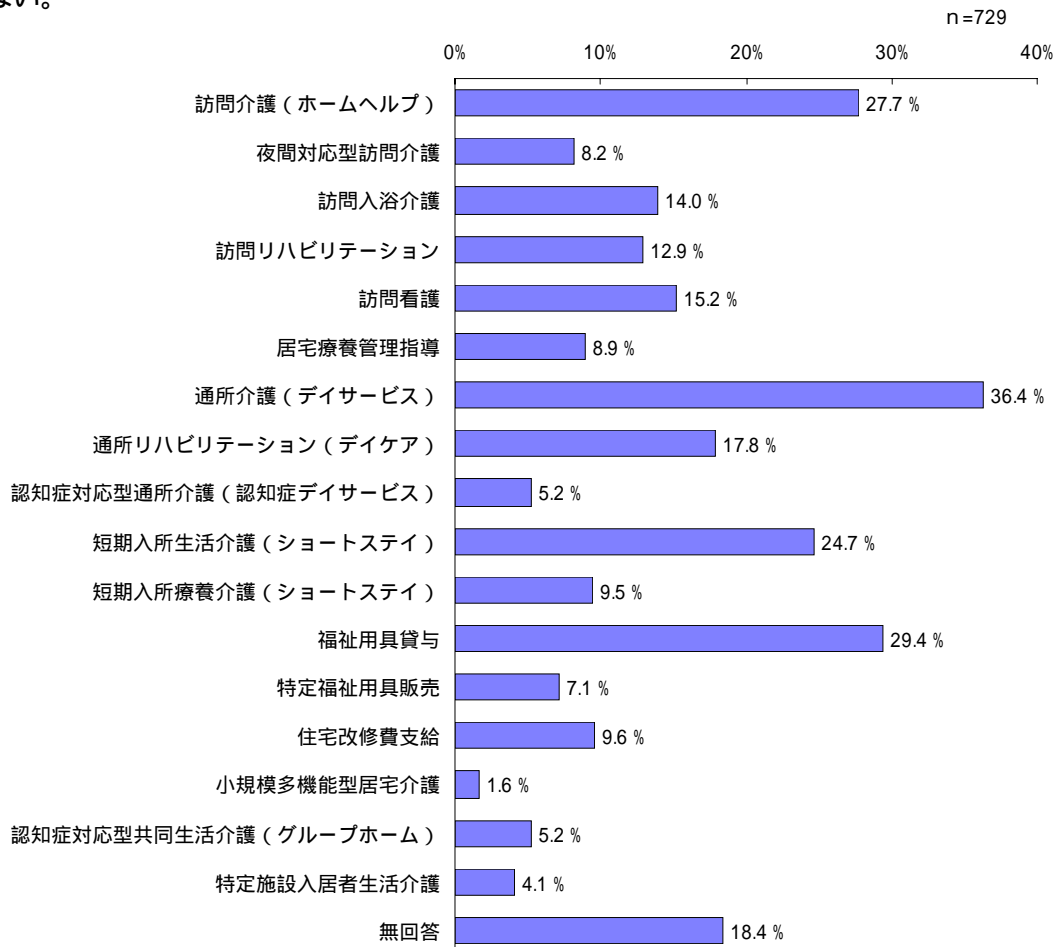
	回答者数 (人)	介護保険サービスを 充実させるためには、 保険料が高くなっても やむをえない	変わらない方がよい (現状維持)	介護保険サービスの 量や種類を減らして も良いから、保険料 を安くしてほしい	無回答	
合計	729	8.9	63.8	11.7	15.6	
介護 保険 料の 段階	第1段階	18	22.2	55.6	11.1	11.1
	第2段階	44	13.6	75.0	9.1	2.3
	第3段階	42	9.5	78.6	9.5	2.4
	第4段階	69	7.2	73.9	17.4	1.4
	第5段階	28	7.1	92.9	0.0	0.0
	第6段階	19	5.3	68.4	26.3	0.0
	第7段階	3	33.3	0.0	33.3	33.3
わからない	306	10.5	71.2	14.4	3.9	

10. 介護サービスについて

(1) 今後1年間のうちに利用したいサービス

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに)

今後1年間のうちで利用したいサービスは、「通所介護(デイサービス)」36.4%、「福祉用具貸与」29.4%、「訪問介護(ホームヘルプ)」27.7%、「短期入所生活介護(ショートステイ)」24.7%、「通所リハビリテーション(デイケア)」17.8%などである。地域密着型サービス利用への希望は少ない。



[要介護状態区分]

最も多いのは、要介護1から要介護3までは、「通所介護(デイサービス)」各38.5%、39.9%、37.2%であり、要介護4及び要介護5は、「福祉用具貸与」各40.9%、47.0%である。「訪問介護(ホームヘルプ)」は、要介護5が42.4%と最も多い。また、「訪問入浴介護」や「訪問リハビリテーション」、「訪問看護」は、要介護4以上で多くなる。

単位：%

	回答者数 (人)	訪問介護 (ホームヘルプ)	夜間対応型 訪問介護	訪問入浴 介護	訪問リハビリ テーション	訪問看護	居宅療養 管理指導	通所介護 (デイサービス)	通所リハビリ テーション (デイケア)	認知症対応 型通所介護 (認知症デイ サービス)	
全 体	729	27.7	8.2	14.0	12.9	15.2	8.9	36.4	17.8	5.2	
要介護状態区分	要介護1	109	24.8	1.8	4.6	3.7	8.3	6.4	38.5	13.8	5.5
	要介護2	228	27.6	6.6	7.5	8.3	7.0	4.8	39.9	20.2	3.5
	要介護3	196	25.0	9.7	11.7	12.2	14.8	7.7	37.2	22.4	6.6
	要介護4	115	26.1	9.6	24.3	20.0	22.6	13.9	36.5	12.2	7.8
	要介護5	66	42.4	19.7	42.4	34.8	43.9	22.7	19.7	13.6	3.0

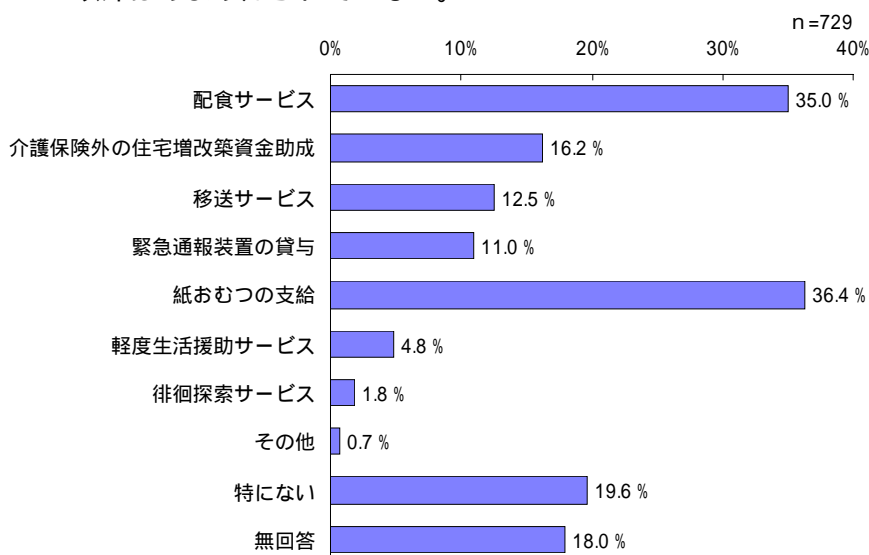
	回答者数 (人)	短期入所 生活介護 (ショートステイ)	短期入所 療養介護 (ショートステイ)	福祉用具 貸与	特定福祉 用具販売	住宅改修費 支給	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護(グループ ホーム)	特定施設 入居者 生活介護	無回答
全 体	729	24.7	9.5	29.4	7.1	9.6	1.6	5.2	4.1	18.4
要介護状態区分	要介護1	109	20.2	5.5	9.2	3.7	6.4	0.0	4.6	23.9
	要介護2	228	17.1	2.6	25.9	7.0	10.1	0.4	1.3	19.7
	要介護3	196	31.1	12.8	33.2	8.2	9.2	1.5	8.2	12.2
	要介護4	115	37.4	17.4	40.9	10.4	9.6	4.3	9.6	19.1
	要介護5	66	21.2	18.2	47.0	6.1	15.2	4.5	4.5	15.2

丸数字は順位

(2) 介護保険以外の福祉サービス

問 23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに)

介護保険サービス以外の知っている福祉サービスは、「紙おむつの支給」36.4%と「配食サービス」35.0%以外はあまり知られていない。



[要介護状態区分]

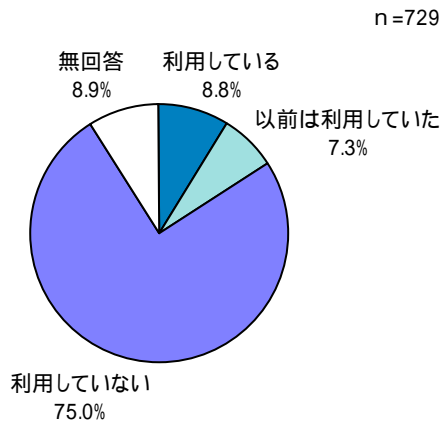
要介護状態区分によって知っているサービスについて大きな違いがあるのは、「紙おむつの支給」である。「紙おむつの支給」は要介護1、13.8%、要介護2、15.4%であるが、要介護3になると48.0%、要介護4は61.7%、要介護5は72.7%と、要介護度に比例する。

11. 配食サービスについて

(1) 配食サービスの利用

問 24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)

配食サービスの利用については、「利用していない」が75.0%、「利用している」8.8%、「以前は利用していた」7.3%であり、『利用』は2割弱である。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは、「利用している」及び「以前は利用していた」を合わせた『利用』が38.5%と4割近いが、日中ひとりであることの多い人は、わずか7.4%である。

[要介護状態区分]

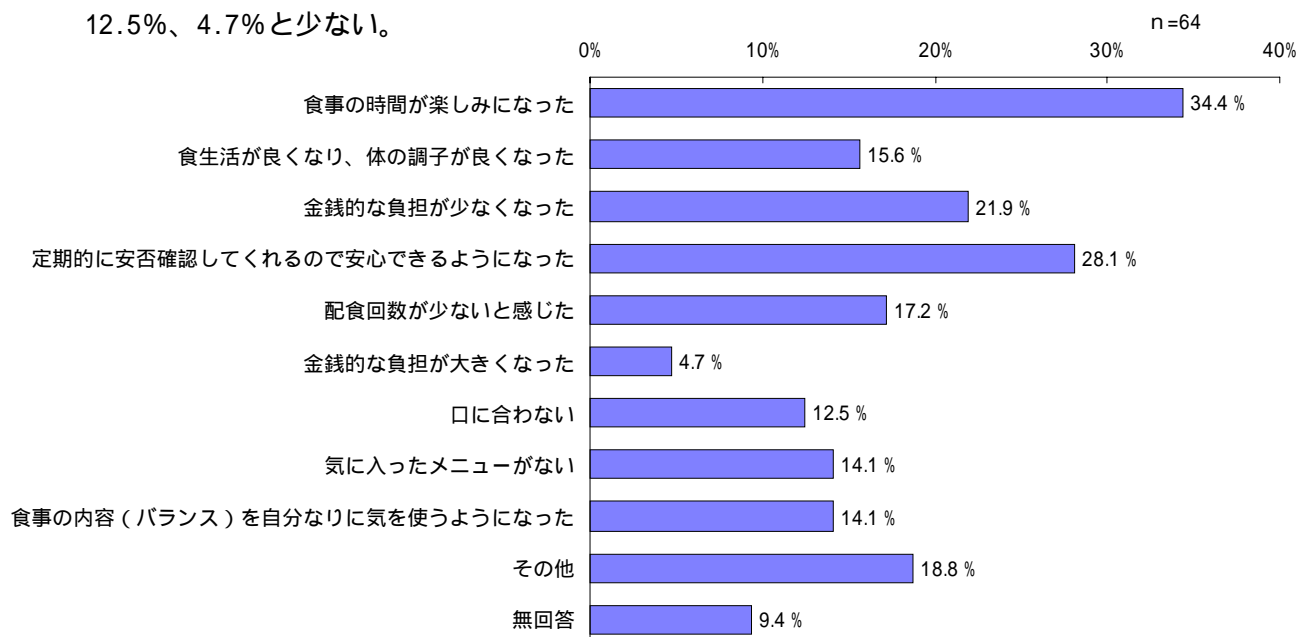
「利用している」は要介護1が17.4%と最も多く、次いで要介護2の9.6%である。逆に「利用していない」は要介護5、84.8%、要介護4、80.0%など、介護度に比例する。

(2) 利用してみたの感想

(問 24 で「利用している」に をつけた人)

問 24- 1 利用してみたの感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「利用している」と答えた人に感想を聞いた。「食事の時間が楽しみになった」34.4%、「定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった」28.1%、「金銭的な負担が少なくなった」21.9%、「配食回数が少ないと感じた」17.2%、「食生活が良くなり、体の調子が良くなった」15.6%など「配食回数」を除いては、肯定的な回答が多い。これに対し、「気に入ったメニューがない」14.1%、「口に合わない」12.5%、「金銭的な負担が大きくなった」といった否定的な回答は各 4.7%、12.5%、4.7%と少ない。

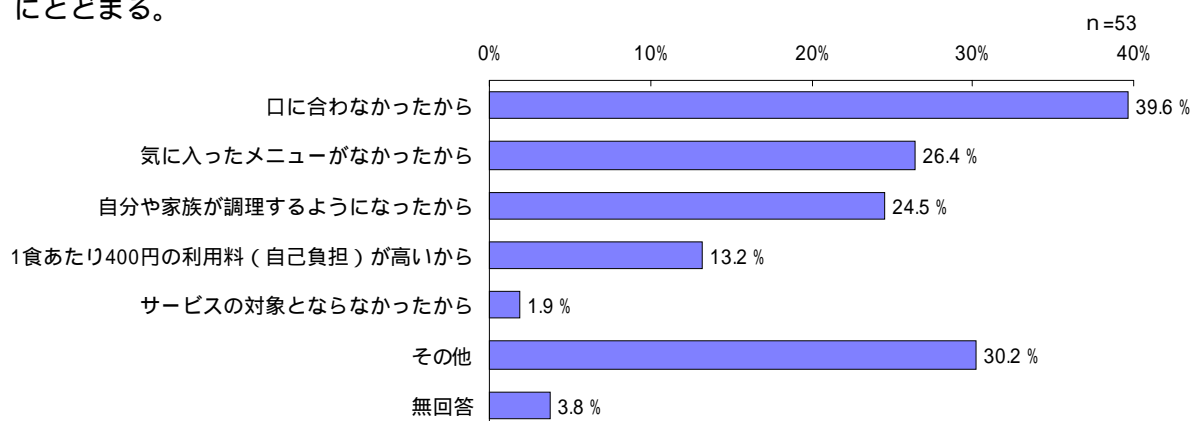


(3) 現在利用していない理由

(問 24 で「以前利用していた」に をつけた人)

問 24- 2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「以前は利用していた」と答えた人に、現在利用していない理由を聞いた。「口に合わなかったから」39.6%、「気に入ったメニューがなかったから」26.4%、「自分や家族が調理するようになったから」24.5%であり、「1食あたり400円の利用料(自己負担)が高いから」は13.2%にとどまる。

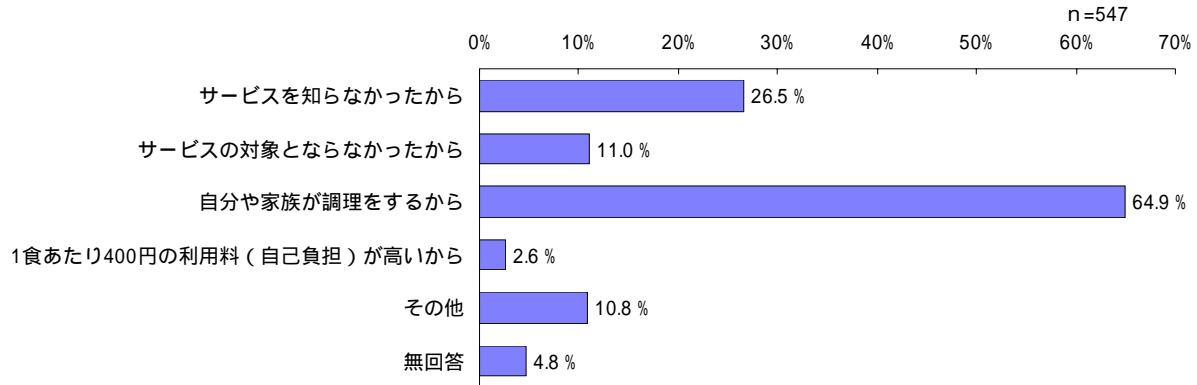


(4) 利用していない理由

(問24で「利用していない」に をつけた人)

問24-3 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

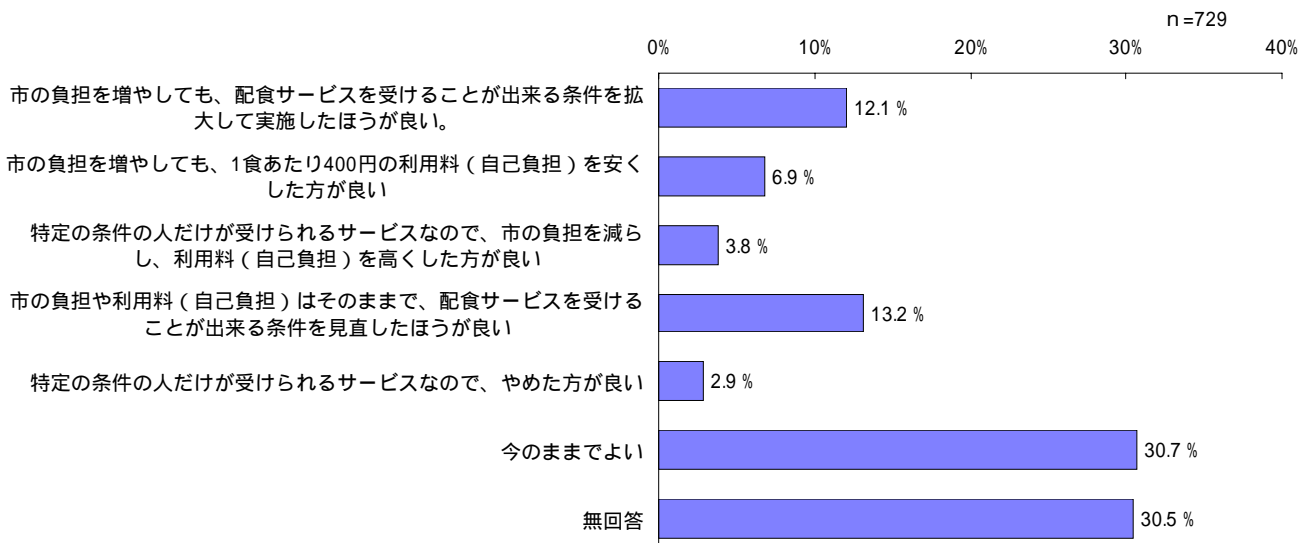
問24で「利用していない」と答えた人に、理由を聞いた。「自分や家族が調理をするから」64.9%、「サービスを知らなかったから」26.5%、「サービスの対象とならなかった」11.0%であり、「1食あたり400円の利用率(自己負担)が高いから」はわずか2.6%である。



(5) 対象者と利用料

問25 対象者と利用料(自己負担)について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)

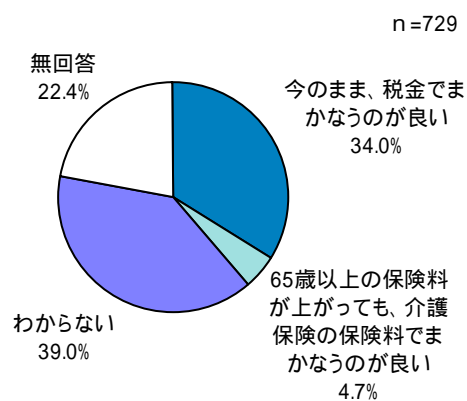
対象者と利用料(自己負担)についての考え方は、「今のままでよい」30.7%、「市の負担や利用率(自己負担)はそのまま、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い」は13.2%、「市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い」12.1%、「市の負担を増やしても、1食あたり400円の利用率(自己負担)を安くしたほうが良い」6.9%などである。「特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめたほうが良い」は2.9%とごく少数であり、現状維持か条件の見直しかに分かれる。



(6) 配食サービスの公費負担

問 26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。
(1つに)

配食サービスの公費負担についての考え方は、「わからない」39.0%と「今のまま、税金でまかなうのが良い」34.0%に分かれ、「65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い」は4.7%と少ない。

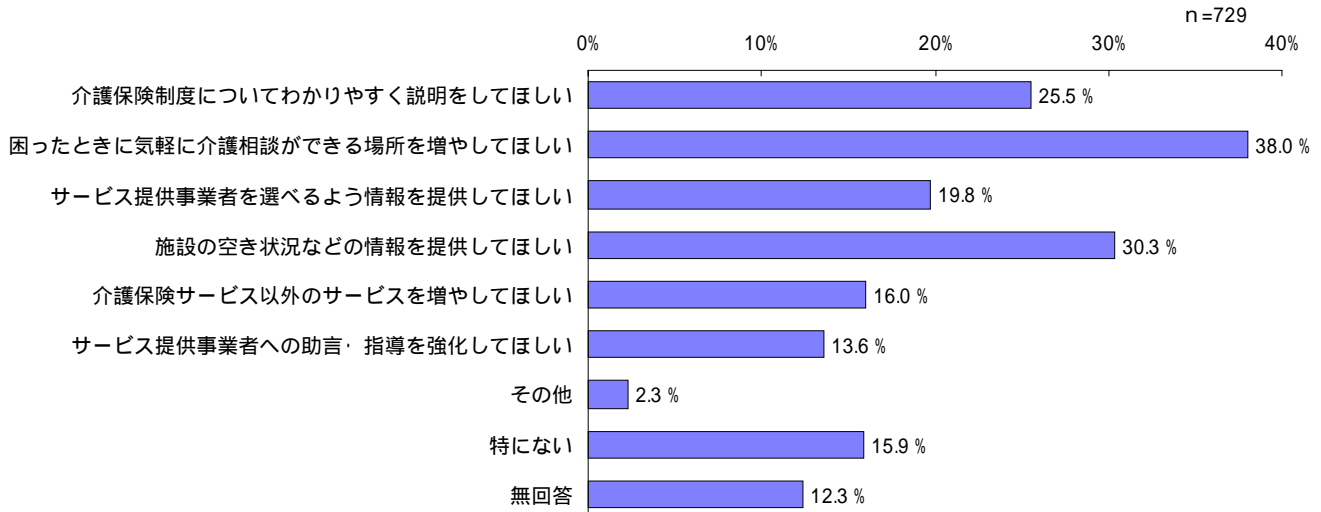


12. 市に期待すること

(1) 介護で市に期待すること

問 27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)

介護で市に期待することは、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」38.0%が1位であり、次いで「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」30.3%、「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」25.5%、「サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい」19.8%などである。



[要介護状態区分]

要介護1から要介護4までの1位は、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」であるが、要介護5では「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」である。

単位：%

	回答者数 (人)	介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい	サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい	施設の空き状況などの情報を提供してほしい	介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい	サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい	その他	特にない	無回答	
全 体	729	25.5	38.0	19.8	30.3	16.0	13.6	2.3	15.9	12.3	
要介護状態区分	要介護1	109	22.9	33.9	21.1	26.6	11.9	14.7	3.7	13.8	19.3
	要介護2	228	22.4	39.0	20.2	23.7	19.3	14.0	2.6	19.3	10.1
	要介護3	196	34.2	40.8	20.9	36.7	13.8	12.2	1.5	11.7	9.7
	要介護4	115	19.1	40.9	15.7	33.0	18.3	13.9	0.9	18.3	12.2
	要介護5	66	24.2	31.8	22.7	34.8	15.2	16.7	4.5	18.2	10.6

丸数字は順位

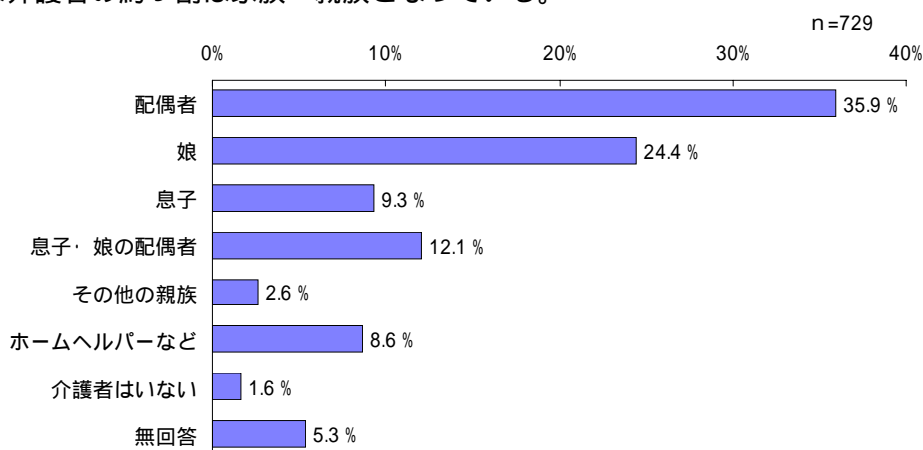
13. 主な介護者（お世話をする側）について

(1) 主な介護者

問 28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)

「配偶者」35.9%、「娘」24.4%、「息子・娘の配偶者」12.1%、「息子」9.3%、「ホームヘルパーなど」8.6%などである。「介護者はいない」は1.6%である。

主な介護者の約9割は家族・親族となっている。



[要介護状態区分]

いずれも「配偶者」が最も多いが、なかでも要介護3の41.3%が他を上回る。「息子・娘の配偶者」は、要介護1から要介護4までは、12~13%内外であるが、要介護5になると4.5%になり、代わりに「娘」が31.8%と多くなる。

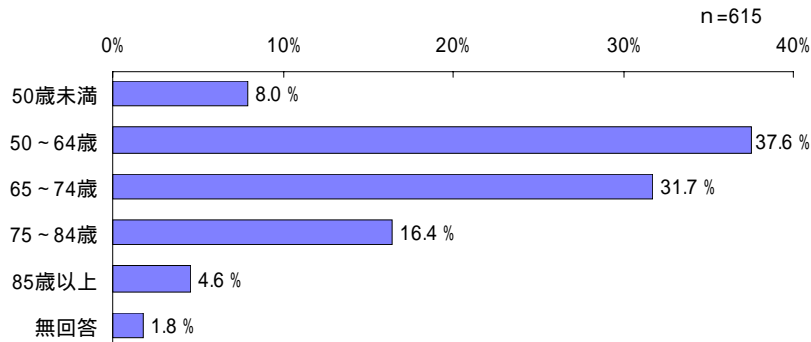
単位：%

	回答者数 (人)	配偶者	娘	息子	息子・娘の 配偶者	その他の 親族	ホームヘル パーなど	介護者はい ない	無回答	
全 体	729	35.9	24.4	9.3	12.1	2.6	8.6	1.6	5.3	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	109	33.9	19.3	9.2	12.8	2.8	10.1	3.7	8.3
	要介護2	228	34.2	27.2	7.9	12.3	1.3	11.0	1.8	4.4
	要介護3	196	41.3	25.0	9.7	12.8	2.6	5.1	0.5	3.1
	要介護4	115	36.5	20.0	11.3	13.9	2.6	7.8	1.7	6.1
	要介護5	66	34.8	31.8	10.6	4.5	4.5	9.1	1.5	3.0

(2) 介護者の年齢

問29 主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

「50～64歳」が37.6%、「65～74歳」が31.7%、「75～84歳」が16.4%、「50歳未満」が8.0%、「85歳以上」4.6%である。65歳以上の高齢者、いわゆる老老介護が5割強となっている。



[性別]

最も多いのは、男性が「65～74歳」41.8%、女性が「50～64歳」43.6%である。

単位：%

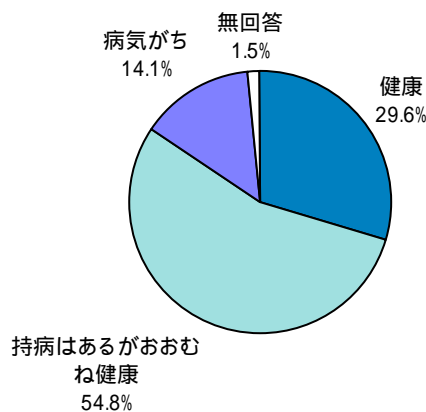
		回答者数 (人)	50歳未満	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全 体		615	8.0	37.6	31.7	16.4	4.6	1.8
性別	男性	208	3.8	28.4	41.8	21.2	4.8	0.0
	女性	388	10.3	43.6	26.0	13.4	4.4	2.3

(3) 介護者の健康状態

問30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)

「持病はあるがおおむね健康」54.8%、「健康」29.6%を合わせた『健康』は84.4%と多く、「病気がち」は14.1%にとどまる。

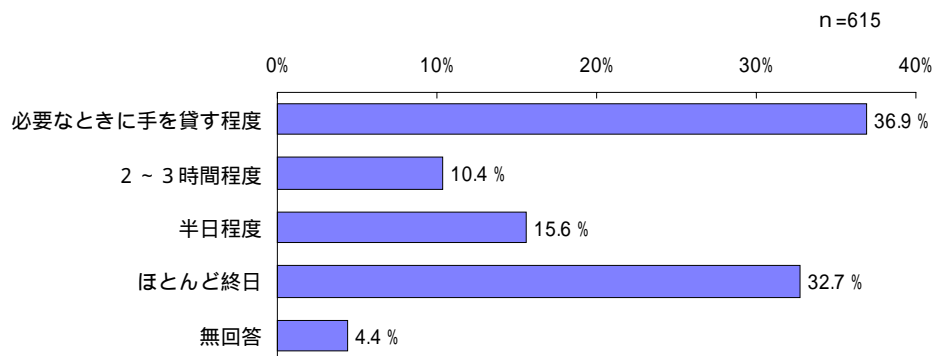
n=615



(4) 介護をしている時間

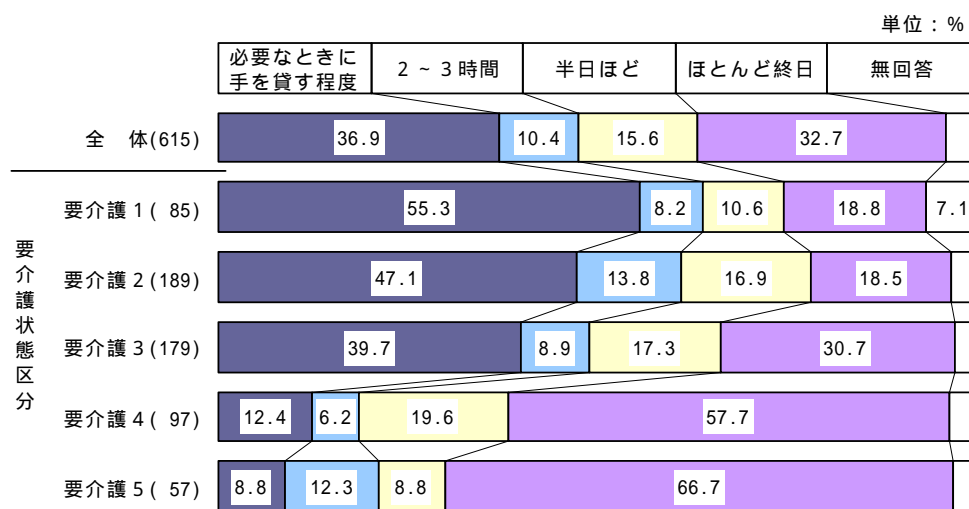
問 31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)

「必要なときに手を貸す程度」36.9%、「ほとんど終日」32.7%、「半日程度」15.6%、「2～3時間程度」10.4%である。



[要介護状態区分]

最も多いのは、要介護1から要介護3までは「必要なときに手を貸す程度」各55.3%、47.1%、39.7%に対し、要介護4及び要介護5では「ほとんど終日」が各57.7%、66.7%である。要介護3では、「必要なときに手を貸す程度」が39.7%、「ほとんど終日」が30.7%、両方に比重がある。

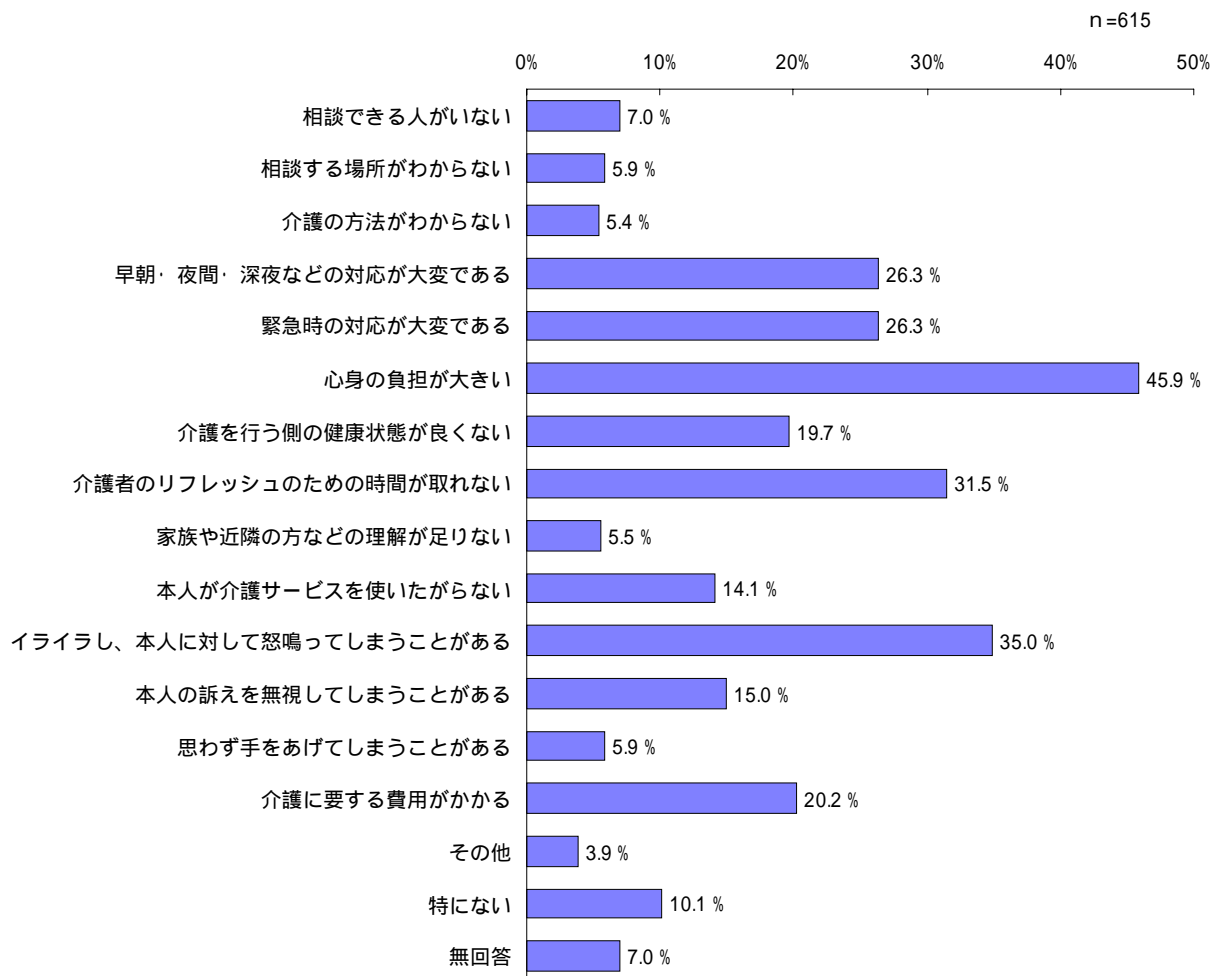


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(5) 介護上の困りごと等

問 32 主に介護している方が、介護を行う上で、困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)

「心身の負担が大きい」45.9%が最も多く、2人に1人があげている。次いで「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」35.0%、「介護者のリフレッシュのための時間が取れない」31.5%、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」及び「緊急時の対応が大変である」ともに26.3%、「介護に要する費用がかかる」20.2%などである。



[要介護状態区分]

「心身の負担が大きい」はいずれも1位としており、要介護度に比例して多くなる。「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」は要介護1では同率1位にあげられ、要介護2及び要介護3では2位である。要介護4及び要介護5の2位は、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」である。また、要介護2を除いては、「介護者のリフレッシュのための時間が取れない」が3位となっている。

単位：%

	回答者数 (人)	相談できる 人がいない	相談する 場所が わからない	介護の 方法が わからない	早期・夜間・ 深夜などの 対応が大変 である	緊急時の 対応が 大変である	心身の 負担が 大きい	介護を行う 側の健康状 態が良くない	介護者のリフ レッシュのた めの時間が 取れない	家族や近隣 の方などの 理解が足り ない	
全 体	615	7.0	5.9	5.4	26.3	26.3	45.9	19.7	31.5	5.5	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	85	11.8	4.7	1.2	15.3	14.1	34.1	12.9	25.9	7.1
	要介護2	189	3.2	2.6	3.2	15.9	25.4	37.6	20.6	19.6	4.2
	要介護3	179	10.1	7.3	9.5	29.6	25.7	48.0	20.7	36.9	5.0
	要介護4	97	5.2	8.2	5.2	43.3	40.2	59.8	26.8	42.3	8.2
	要介護5	57	5.3	8.8	7.0	40.4	26.3	64.9	14.0	43.9	5.3

	回答者数 (人)	本人が介護 サービスを使 いたがら ない	イライラし、 本人に対して 怒鳴って しまうこと がある	本人の訴え を無視して しまうこと がある	思わず手を あげてしま うことが ある	介護に要す る費用がか かる	その他	特にな い	無回 答	
全 体	615	14.1	35.0	15.0	5.9	20.2	3.9	10.1	7.0	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	85	17.6	34.1	11.8	4.7	15.3	4.7	10.6	16.5
	要介護2	189	14.8	31.2	18.5	3.2	14.3	4.2	15.9	9.0
	要介護3	179	12.3	38.5	12.8	8.4	23.5	3.9	7.8	2.8
	要介護4	97	16.5	37.1	14.4	7.2	24.7	4.1	5.2	4.1
	要介護5	57	8.8	36.8	17.5	7.0	29.8	1.8	5.3	1.8

丸数字は順位

(6) 家族介護で市に期待すること

問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「家族介護の負担の軽減」45.0%、「介護に要する費用負担の軽減」35.3%、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」30.6%、「介護に関するさまざまな情報の提供」28.1%、「医療との連携」27.6%などである。

